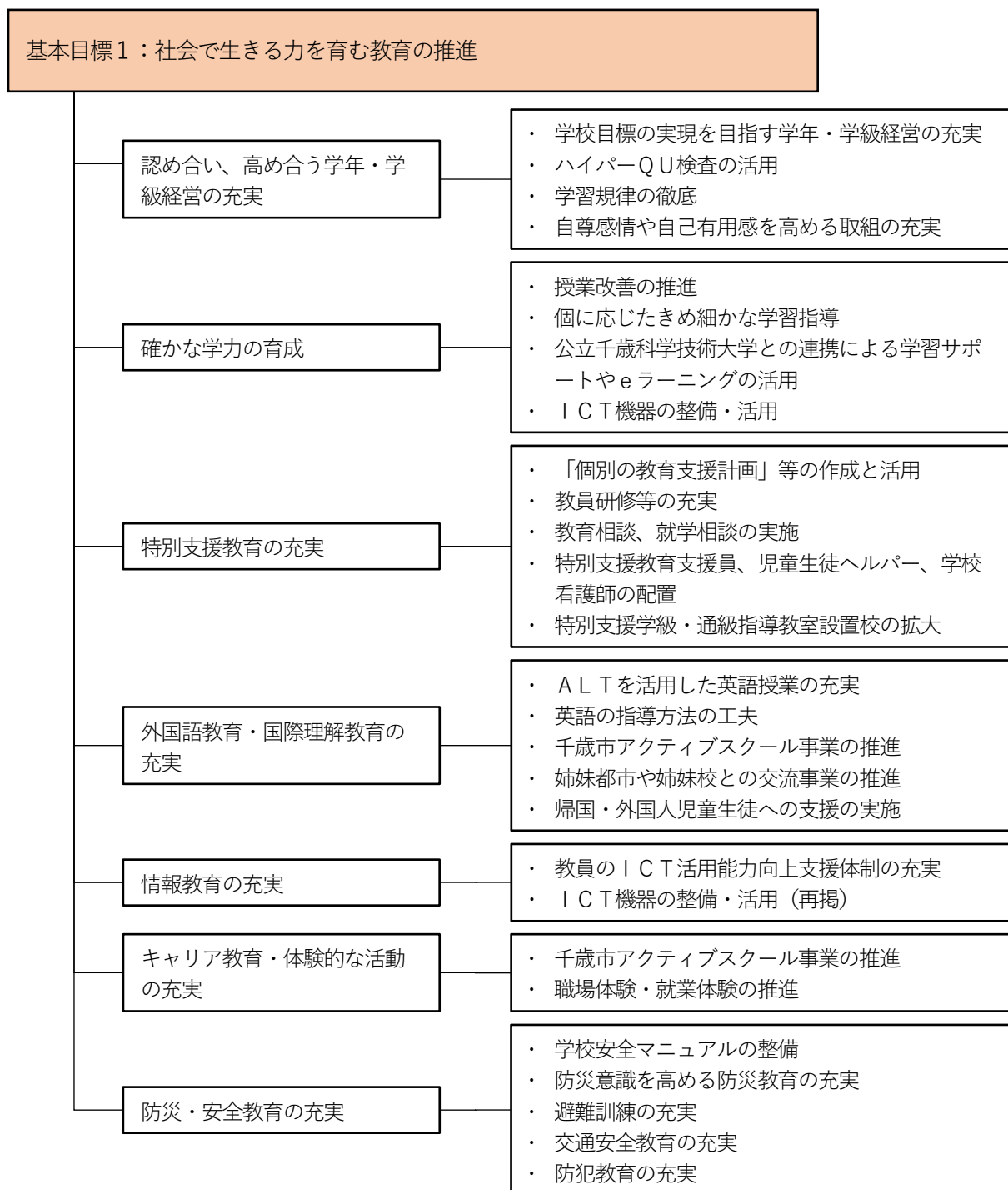


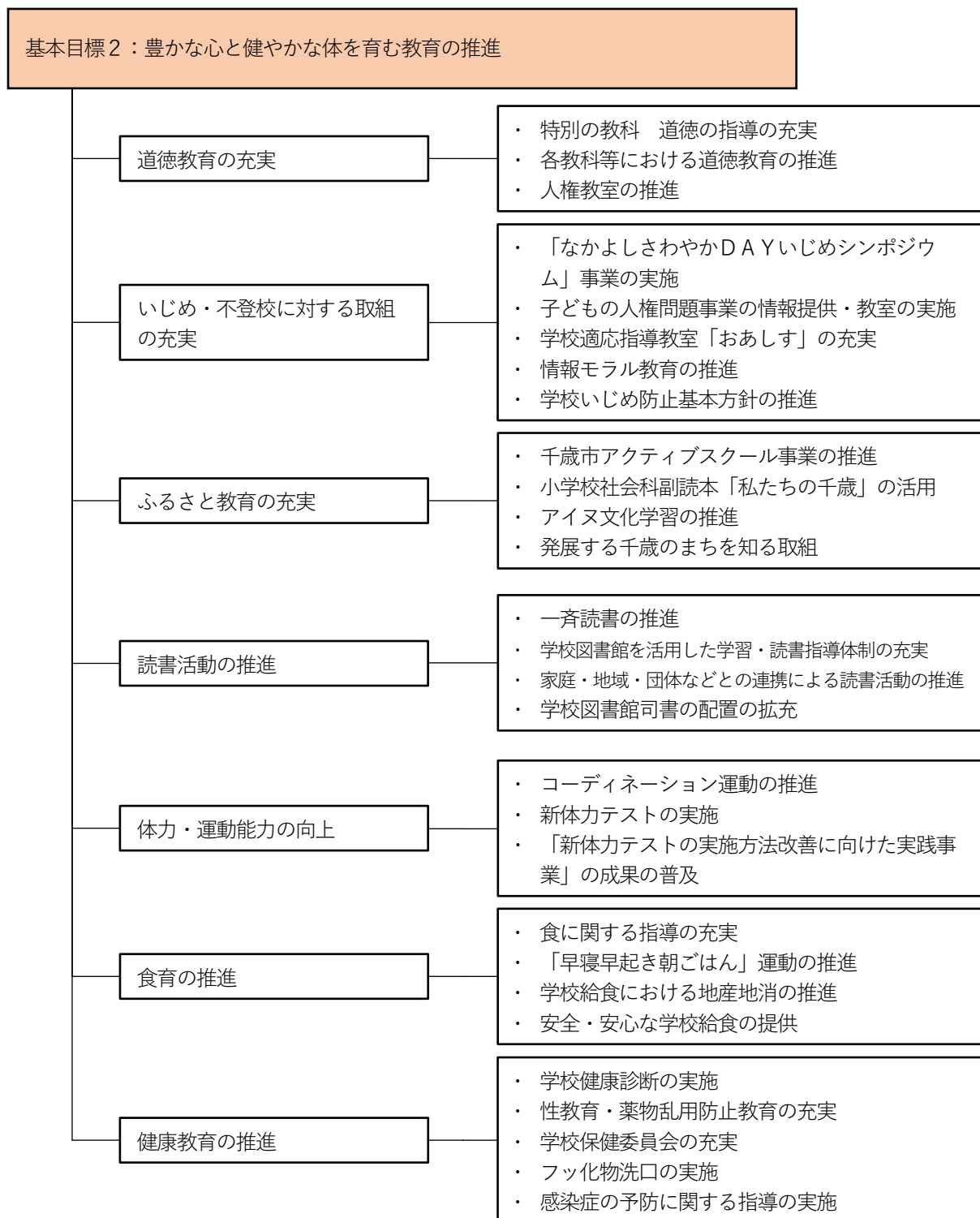
Ⅳ 学校教育

〔1〕 学校教育の主な施策

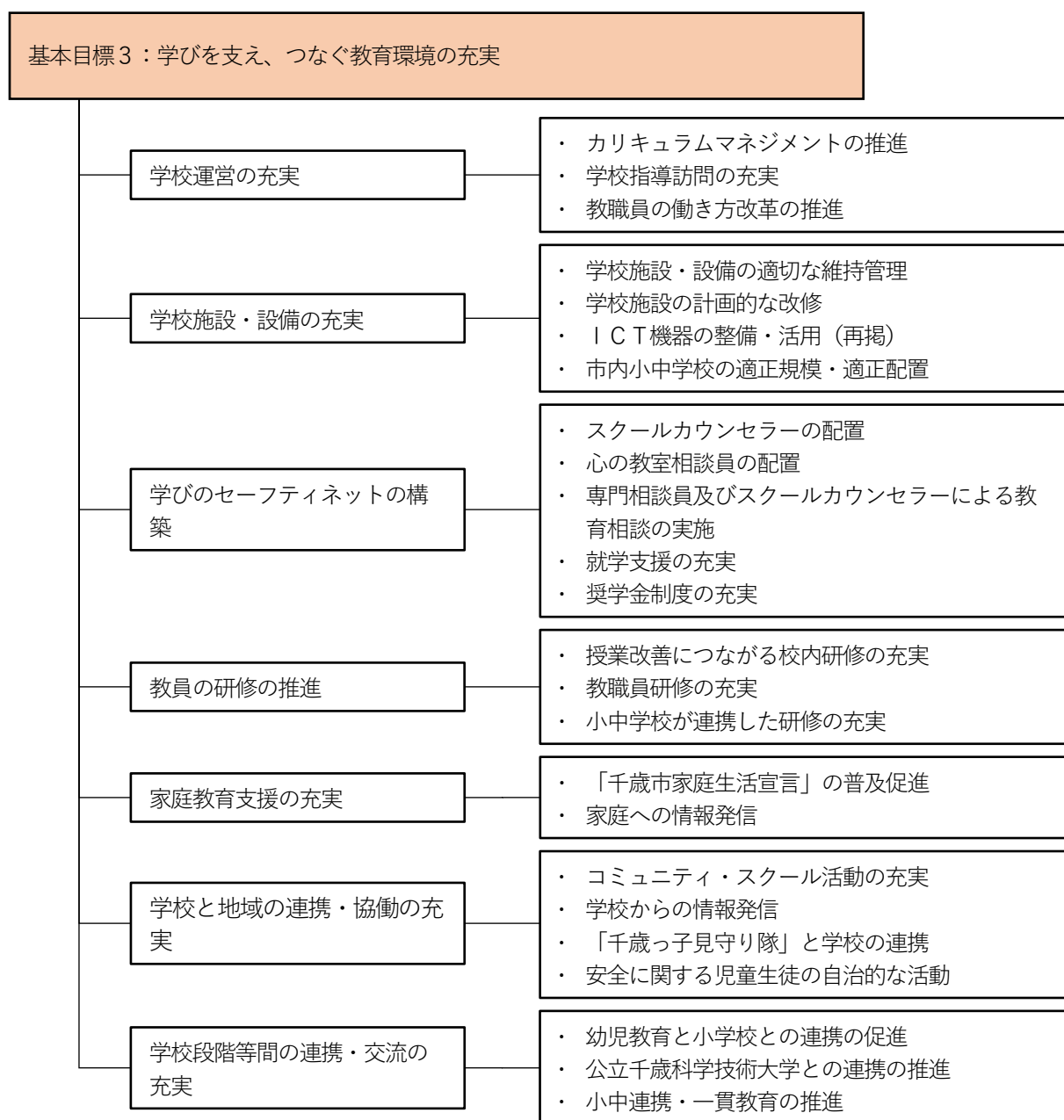
1 社会で生きる力を育む教育の推進



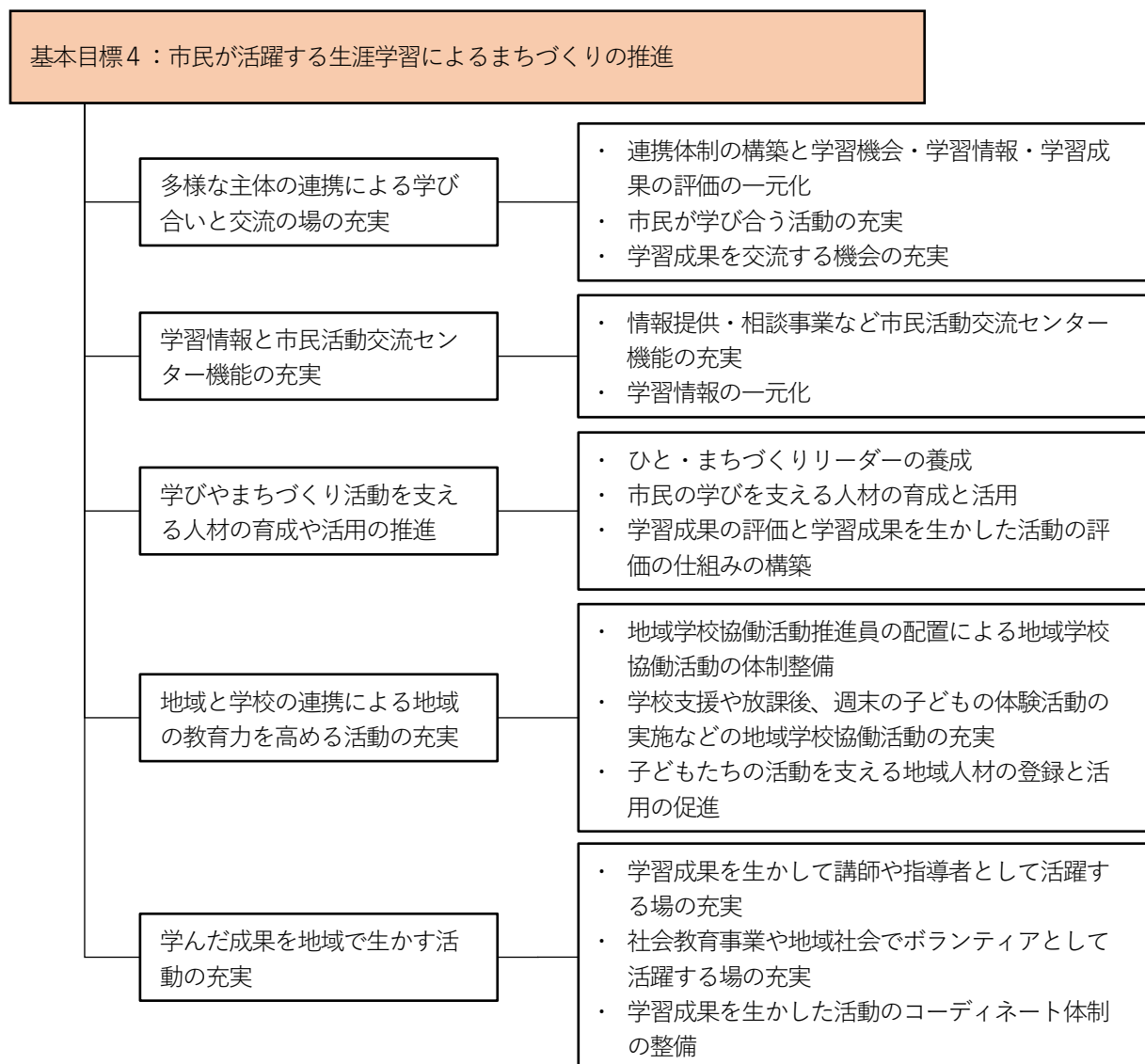
2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進



3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実



4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進



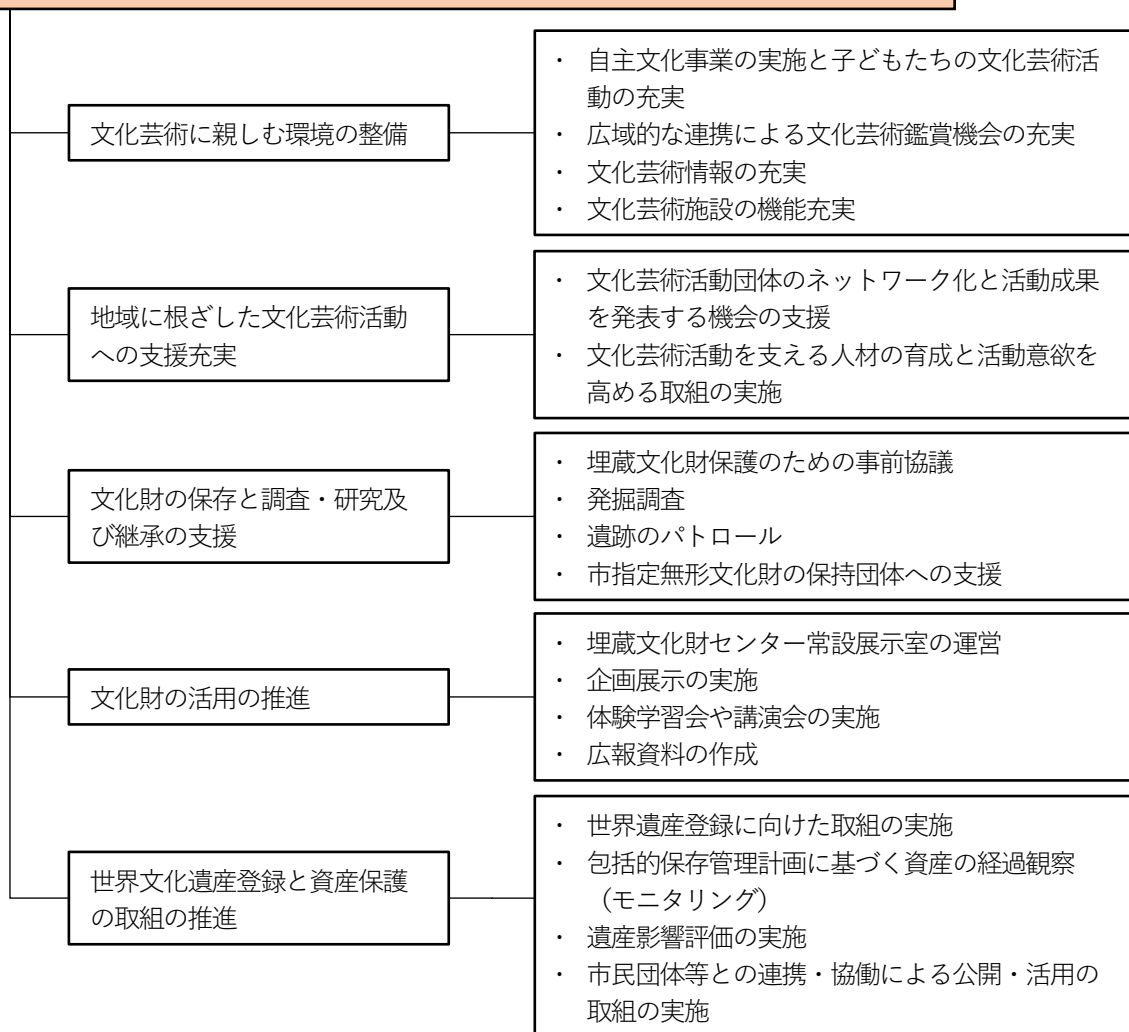
5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実

基本目標5：各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実

乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実	・ 家庭教育に関する学習機会の提供 ・ 親子触れ合い交流事業の実施 ・ 子どもの望ましい生活習慣の定着などに取り組むPTA活動の支援 ・ 地域社会で家庭教育を支える人材の育成と活用
青少年の自立と成長を育む学びの充実	・ 青少年の体験活動機会の充実 ・ 青少年の体験活動情報の提供 ・ 青少年の体験活動を支える人材の育成・活用と連携
青少年非行防止への取組の推進	・ 「青少年指導センター」巡回指導の実施 ・ 育成相談の実施 ・ ネットパトロールの実施
成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実	・ はたちのつどい事業の実施 ・ 生活課題に対応する学習機会の提供 ・ 高齢者学級開催事業の実施
ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実	・ ふるさと千歳の理解を深める学習機会の提供 ・ 地域課題解決学習の推進
社会教育施設機能と読書環境の充実	・ 市民ニーズを反映した安全で快適に利用できる施設の整備 ・ 公民館教室の実施 ・ 市民の誰もが親しめる読書環境の充実

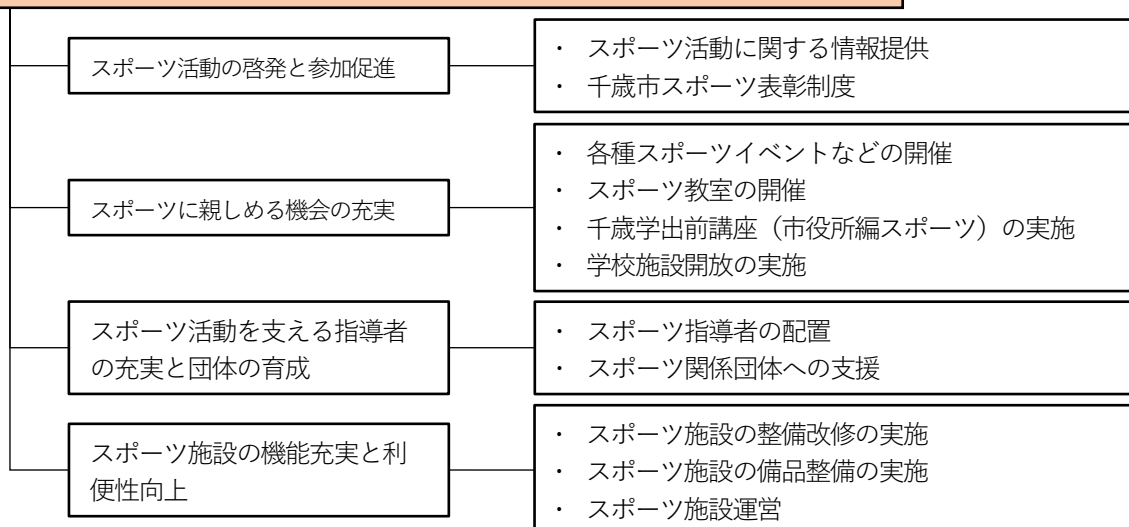
6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承

基本目標6：まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承



7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進

基本目標7：誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進



〔２〕 児童生徒数の推移

１ 小学校

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
千 歳 小	325	321	303	296	304	278	273	262	257	251	245
北 進 小	28	29	35	40	43	38	41	32	30	26	24
北 栄 小	266	252	240	236	248	262	268	264	266	244	220
末 広 小	485	499	497	514	525	526	521	519	524	513	513
緑 小	414	430	436	423	413	440	462	443	407	402	410
千歳第二小	339	321	324	331	330	326	310	320	321	330	352
駒 里 小	8	10	12	11	14	14	14	13	16	17	13
支笏湖小	13	15	16	13	11	10	9	8	9	11	11
日の出小	523	492	454	450	457	467	474	487	484	438	434
信 濃 小	434	426	429	411	393	394	370	380	372	379	396
高 台 小	308	306	290	288	264	255	245	248	262	267	277
東 小	25	26	28	29	20	25	26	28	26	29	28
祝 梅 小	318	316	300	283	280	275	281	255	249	238	235
桜 木 小	400	371	357	339	337	335	330	309	323	320	307
向陽台小	174	177	167	164	156	154	147	136	141	148	133
北 陽 小	1,185	1,264	1,317	1,350	1,398	1,397	1,470	1,499	1,488	1,490	899
泉 沢 小	323	305	299	300	267	272	263	239	228	207	209
みどり台小											607
合 計	5,568	5,560	5,504	5,478	5,460	5,468	5,504	5,442	5,403	5,310	5,313

２ 中学校

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
千 歳 中	567	558	551	584	583	590	560	590	588	572	538
北 進 中	38	30	31	36	41	40	30	29	25	25	24
青 葉 中	451	431	440	437	407	355	345	342	322	324	322
東千歳中	12	8	7	8	13	11	12	9	13	13	13
駒 里 中	9	8	12	9	5	7	6	7	8	10	12
富 丘 中	536	531	502	518	531	508	513	489	515	512	531
北 斗 中	376	360	344	335	313	307	313	302	290	273	284
向陽台中	344	296	250	244	257	230	221	207	220	223	195
勇 舞 中	426	477	511	591	627	676	660	693	690	749	750
合 計	2,759	2,699	2,648	2,762	2,777	2,724	2,660	2,668	2,671	2,698	2,669

※児童生徒数は各年度５月１日現在の学校基本調査による

〔3〕 市内小中学校の変遷

	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治 12.10.15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治 13.4) 千歳教育所 ↓ (明治 22) 千歳簡易小学 ↓ (明治 28) 千歳尋常小学校 ↓	(明治 31.4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治 33.6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治 39.9) 阿宇砂里簡易教育所 ↓	(明治 32.9) 私立教育所 ↓ (明治 33.11.21) 長都簡易教育所 ↓ (明治 34.6.3) 長都尋常小学校 ↓	(明治 33.6.8) 嶮淵簡易教育所 ↓	(明治 33.9.24) 幌加簡易教育所 ↓
大正	(大正 7.12) 高等科設置 ↓	(大正 6.4.1) 阿宇砂里尋常小学校 ↓	(大正 15.5.1) 釜加特別教授場 ↓	(大正 6.4) 嶮淵尋常小学校 ↓ (大正 12.4) 高等科設置 ↓	(大正 5.10.25) 幌加尋常小学校 ↓
昭和	(昭和 16.4) 千歳国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳小学校 ↓	(昭和 16.4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和 22.4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 駒里小学校 ↓	(昭和 7)統合 ↓ (昭和 15.6) 高等科設置 ↓ (昭和 16.4) 長都国民学校 ↓ (昭和 22.4) 長都小学校 ↓	(昭和 16.4) 嶮淵国民学校 ↓ (昭和 22.4) 嶮淵小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 泉郷小学校 ↓ (昭和 43.3.31) 千歳第二小学校へ統合	(昭和 16.4) 幌加国民学校高等科設置 ↓ (昭和 22.4) 幌加小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校
平成	(平成 5.4.1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成 17.3.31) 北陽小学校へ統合		

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉱山小学校
明治		(明治 26 年ころ) 説教所で寺子屋 ↓ (明治 34.12.1) 近唐教育所 ↓				
大正	(大正 6.4.1) 近唐尋常小学校 ↓	(大正 6.4.1) 木臼尋常小学校 ↓	(大正 10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正 6.12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正 12.4) 高等科設置 ↓	(大正 7.6.6) 新嶮淵尋常小学校 ↓	(大正 9.12.13) 千歳小学校根志越 分教場 ↓ (大正 13) 根志越特別教授所 ↓	
昭和	(昭和 16.4) 近唐国民学校 ↓ (昭和 22.4) 近唐小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 協和小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校	(昭和 16.4) 木臼国民学校 ↓ (昭和 22.4) 木臼小学校 ↓ (昭和 26.4.1) 中央小学校 ↓	(昭和 6.4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和 11.11.30) 千歳鉱山特別分教場設置 ↓ (昭和 16.4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和 22.4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和 22.12.25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和 26.4) 水明小学校 ↓ (昭和 34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39.3.31) 支笏湖小学校へ統合	(昭和 16.4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和 22.4) 新嶮淵小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 東丘小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校	(昭和 21.4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳第二小学校 ↓ (昭和 43.4.1) 泉郷小学校を統合 ↓ 現在に至る	(昭和 11.11.30) 烏柵舞尋常高等小 千歳鉱山特別教授 所 ↓ (昭和 12.10.1) 千歳鉱山尋常高等 小学校 ↓ (昭和 16.4) 千歳鉱山国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳鉱山小学校 ↓ (昭和 53.3.31) 廃校
平成		(平成 5.3.31) 千歳小学校へ統合				

	蘭越小学校	支笏湖小学校	千歳第三小学校	北栄小学校	末広小学校	緑小学校
昭和	(昭和 21.11.20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和 22.4) 蘭越小学校 ↓ (昭和 53.3.31) 緑小学校へ統合	(昭和 22.12.25) 烏柵舞小学校支笏 湖畔分教場 ↓ (昭和 24.1.29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和 39.4.1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和 23.6) 開校 ↓ (昭和 43.7.18) 信濃小学校へ統合	(昭和 28.5.25) 開校 現在に至る	(昭和 31.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 32.4.1) 開校 ↓ (昭和 53.3.31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	藤の沢小中学校	北進小中学校	日の出小学校	信濃小学校	高台小学校	東小学校
昭和	(昭和 34.4.1) 水明小中学校藤の 沢分校 ↓ (昭和 39.3.31) 水明中藤の沢分校 水明中学校へ統合 ↓ (昭和 39.4.1) 千歳小学校藤の沢 分校 ↓ (昭和 41.4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和 42.3.31) 廃校	(昭和 35.5.5) 千歳小学校特殊学 級 ↓ (昭和 37.4.1) 千歳中学校特殊学 級併設 ↓ (昭和 40.10.1) 千歳小中北栄分校 ↓ (昭和 46.4.1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和 41.12.1) 開校 現在に至る	(昭和 43.4.1) 開校 ↓ (昭和 43.7.18) 千歳第三小学校を統 合 現在に至る	(昭和 45.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 46.1.1) 幌加、協和、東丘 の3校を統合して 開校 現在に至る
	祝梅小学校	桜木小学校	向陽台小学校	北陽小学校	泉沢小学校	長都中学校
昭和・平成	(昭和 51.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 53.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 57.4.1) 開校 現在に至る	(平成 6.4.1) 開校 ↓ (平成 17.4.1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成 9.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校長都分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 30.5.23) 長都中学校として 独立 ↓ (昭和 52.4.1) 長都中学校 ↓ (平成 17.3.31) 富丘中学校へ統合

	みどり台小学校					
令和	(令和 4.4.1) 開校					
	千歳中学校	東千歳中学校	青葉中学校	千歳鉱山中学校	駒里中学校	泉郷中学校
昭和・平成	(昭和 22.6.4) 開校 ↓ (昭和 41.4.1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和 43.4.1) 泉郷中学校を統合 ↓ (平成 24.4.1) 真町中学校を統合 現在に至る	(昭和 22.6.5) 幌加中学校として 小学校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和 32.8.29) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校鉱山分校 として小学校に併置 ↓ (昭和 25.4.1) 千歳鉱山中学校 ↓ (昭和 53.3.31) 廃校	(昭和 25.12) 千歳中学校阿宇砂 里分校として小学 校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 駒里分校 ↓ (昭和 31.1.1) 駒里中学校として 小学校に併置 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校嶮淵分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 泉郷分校 ↓ (昭和 31.1.1) 泉郷中学校 ↓ (昭和 43.3.31) 千歳中学校へ統合
	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭和・平成	(昭和 22.5.13) 千歳中学校木臼分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 26.4.1) 同 中央分校 ↓ (昭和 31.1.1) ↓ (昭和 47.3.31) 真町中学校へ統合	(昭和 24.4.8) 千歳中学校烏柵舞 分校として小学 校に併置 ↓ (昭和 26.4.1) 同 水明分校 ↓ (昭和 31.1.1) 水明中学校 ↓ (昭和 34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39.4.1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和 41.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和 47.1.1) 開校 ↓ (昭和 47.4.1) 中央中学校を統合 ↓ (平成 24.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和 50.4.1) 開校 ↓ (平成 17.4.1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和 59.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 62.4.1) 開校 現在に至る
	勇舞中学校					
平成	(平成 24.4.1) 開校 現在に至る					

〔4〕 学校の概要

1 小学校

	千 歳 小 学 校		
	所在：千歳市本町3丁目4番地の1 電話：0123-23-2181 創設：明治12年10月15日 面積：敷地 15,089 m ² 、建築 5,065 m ²		
校長名	山村 健史	教頭名	澤口 敏之
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	13学級 245名
教育目標	歴史と伝統 未来へつなぐ 私たちは、誇り高い千歳小学校の子どもです。 かしこく やさしく たくましく ～ 学ぼう つなごう やりぬこう ～ 【重点目標】 つながり合って学ぶ 千小の子		
研究主題	自分の思いや考えをもち、表現できる子の育成 ～資質・能力を育成する学びの過程の工夫を通して～		
特色ある 教育活動	1 「共に生きる～地域から世界へ～」を総括テーマとする総合的な学習の時間「あおば学習」の推進 ○3年～「バリアフリーについて考えよう！（福祉）」「世界のくらし」 ○4年～「防災について考えよう！（防災）」「千歳の魅力発見！（郷土理解）」 ○5年～「千歳市の自然 ～他の町と比べてみよう」「守ろう、地球の宝物」 ○6年～「北海道の歴史」「世界の人と手をつなごう」 ○アメリカアラスカ州サンドレイク小学校との交流(日常的な Skype を活用しての交流) 2 全校朝学習「きらめきタイム」の実践 3 体力向上チャレンジ「朝チャレ」「みんなであそぼう」 4 無言清掃の実施（月2回 ピカルンデー）		
沿 革	明治12年10月 寺子屋式教育を始める 明治13年 4月 千歳教育所となる 明治28年 3月 千歳尋常小学校となる 昭和22年 4月 千歳小学校となる 昭和53年10月 開校100年記念式典挙行 平成元年 2月 開校110年・体育館完成記念式典挙行 平成 6年 6月 サンドレイク小学校児童他29名来校 相互訪問開始 平成 9年 3月 本校児童他54名、サンドレイク小学校訪問 平成10年 5月 石狩教育研究所「総合学習」研究協力校 平成15年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成21年 6月 サンドレイク小学校児童他42名来校 10月 耐震化大規模改修工事完了 平成23年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他24名） 平成24年 6月 サンドレイク小学校児童他35名来校 平成26年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他22名） 6月 サンドレイク小学校児童他35名来校 平成28年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他15名） 6月 サンドレイク小学校児童他46名来校 11月 北海道道徳教育推進校事業 千歳小学校公開授業研究会開催 平成30年 1月 サンドレイク小学校訪問（千歳市事業へ移行：本校児童他39名） 2月 北海道教育実践表彰受賞（学力向上、道徳教育の充実） 6月 サンドレイク小学校児童他28名来校 10月 開校140年記念集会開催 同窓会総会開催 令和 2年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他24名）		

	北 進 小 学 校		
	所在：千歳市北栄1丁目2番6号 電話：0123-23-3439 創設：昭和35年5月5日 面積：敷地 10,642 m ² 、建築 2,853 m ²		
校長名	野澤 孝志	教頭名	杉原 大樹
教職員数	教員 7名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	知的障がい 3学級 23名 自閉症・情緒障がい 1学級 1名 計 4学級 24名 (通級指導教室 2学級 15名)
教育目標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子(知) ・かわりをもてる子(情) ・たくましく生きる子(意・体) 【重点目標】 自分の考えをもち、表現しようとする子どもの育成 ～「担い」「認め合う」ことで培う自己有用感～		
研究主題	自己表現の力を育成する授業づくり ～ICTの活用の可能性を探る～		
特色ある 教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を生かした小中一貫教育の推進 2 自己決定や社会参加を見通した教育活動 (体験学習、ソーシャルスキルトレーニング-SST-) 3 個別の指導計画の作成とインフォームドコンセントおよびアカウンタビリティの推進 4 児童一人一人の個性を生かし、かつ、大きな集団の良さを生かした教育活動 5 健常者との交流学习 6 他校の児童を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和35年 5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転(現校舎) 昭和41年 4月 千歳小の北栄分校と称する 昭和46年 4月 北進小学校と称する 昭和49年 4月 言語治療教室緑小に移設 10月 開校15周年記念式典挙行 昭和53年 4月 情緒障害学級開設認可 平成 3年 3月 開級30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年 2月 開級40周年記念祝賀会、開校30周年記念祝賀会 平成18年 2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校40周年をお祝いする会 平成24年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 平成26年 9月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成27年 9月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成28年 8月 体育館非構造部材耐震工事、花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成29年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 校長住宅解体 平成30年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 令和元年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 10月 市内音楽発表会(小・中)初参加 令和 2年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 令和 3年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 11月 「開校50周年をお祝いする会」の開催		

	北 栄 小 学 校		
	所在：千歳市北栄1丁目10番2号 電話：0123-23-4138 創設：昭和28年5月25日 面積：敷地 30,302 m ² 、建築 6,035 m ²		
校長名	昇 洋一	教頭名	作田 稔
教職員数	教員 18名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	12学級 220名 (うち特別支援学級 3学級20名)
教育目標	○主体的に工夫して学習する子ども (主体的な子) ○情操に富み創造的な子ども (創造的な子) ○連帯感を深め責任ある行動をする子ども (責任ある子) ○体力の向上に努め、健康で明るい子ども (明るく元気な子) ○勤労を愛する子ども (働く子) 【重点目標】 自分で考え、行動し、仲間と共に成長する子ども		
研究主題	自ら考え、共に学び合う子の育成		
特色ある教育活動	1 特別支援学級「たんぽぽ教室」(知的、情緒)を併設し、普通学級との日常的な交流のほか、総合的な学習の時間に位置づけた交流の機会をもち共に生きるための相互理解の場としている。 2 縦割り班を活用した異学年交流活動を推進している。 ・遊び活動 ・清掃活動 3 全校道徳を実施し、言葉遣いや友達に対する思いやりを考える機会を意図的に設け、児童の心の育成を図っている。 4 管内屈指のスクールバンドを有し、情操豊かな子どもの育成に努めている。 ・定期演奏会、校内諸行事での発表、各種コンクール、地域行事への参加		
沿 革	昭和28年 5月 千歳小学校より分離し9学級で開校 昭和48年 5月 情緒障がい児学級新設 昭和55年 6月 スクールバンド結成 平成15年11月 開校50周年記念式典挙行 平成18年 3月 「北栄子どもを見守り隊」発足 平成19年10月 緑化事業「げん気の森」完成式典 平成21年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成22年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成24年 7月 中西圭三&SEASONS、スクールバンドジョイントコンサート 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会金賞受賞 平成29年 2月 JICA 国際交流 (ウガンダ共和国) 5月 図書ボランティア「希望が丘」設立 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 平成30年 2月 JICA 研修員との国際交流 6月 特別支援難聴学級開設 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 平成31年 2月 JICA 研修員との国際交流 令和元年 5月 北栄小コミュニティ・スクール (学校運営協議会) 発足 6月 JICA 研修員との国際交流 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 令和 2年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 令和 3年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞		

	末 広 小 学 校		
	所在：千歳市富丘1丁目6番2号 電話：0123-23-4127 創設：昭和31年4月1日 面積：敷地 21,469 m ² 、建築 5,933 m ²		
校長名	横山 浩之	教頭名	水元 康公
教職員数	教員 21名 主幹 1名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	19学級 513名
教育目標	○進んでやりぬく子 ○えがおで元気な子 ○広い心でやさしい子 ○六年間を自ら学ぶ子 【重点目標】 「認め合い 学び高め合い きたえ合う 末広の子」 ～ わたしっていいな！ きみってすごい！～		
研究主題	文章を主体的に読み、活用する力を身につけた子どもの育成 ～教材文と言語活動をつなぐ「読むこと」の学習を通して～		
特色ある 教育活動	1 アイヌ文化学習（総合的な学習・生活科） 全学年のカリキュラムを編成し、本物に触れる体験重視の活動を軸に、ふるさとを愛し、自然や命を大切にする心を育み、生き生きと学習する子どもの育成に努めている。また、地域人材や保護者・地域の人々からの支えを受けながら、学校・家庭・地域が一体となった教育活動に努めている。 2 福祉・交流学習やユネスコスクールとしての取組 福祉体験や市の福祉の様子に関する学習、地域のお年寄り等との交流、リサイクルやアイヌ文化学習等を通して、人とのふれあいを深めるとともに、人と自然と関わり、社会の一員としてできることを考え実践する力の育成に努めている。 3 授業の工夫改善 算数科での習熟度別少人数指導による基礎基本の定着やきめ細かな指導の充実、地域人材の活用やゲストティーチャーによる多様な学習の充実を図る。		
沿 革	昭和31年 4月 新設開校 8月 開校記念式典挙行 昭和49年 3月 現在地に校舎移転 平成10年 3月 北海道教育実践表彰受賞 平成18年12月 開校50周年記念式典挙行 平成19年 2月 石狩教育局 教育実践奨励表彰 5月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年 5月 北海道教育実践表彰受賞 平成21年 3月 多目的トイレ完成 9月 「ねんりんピック」参加 平成22年 9月 全国人権教育指導主事研究協議会にて発表 平成23年 6月 ユネスコスクール認定 10月 ふるさと教育推進事業実践校（～平成25年） 平成24年 2月 朝日のびのび教育賞受賞 平成25年 4月 学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校 平成26年 1月 アイヌ文化資料室「チセ」の茅葺き全面改修及び復元完了 平成27年 8月 教育公務員弘済会実践助成で教授用パソコン購入 平成28年 開校60周年記念事業実施 平成30年 4月 北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業実践校 令和 4年 4月 特別支援学級（ぴりか学級）開設 8月 タブレット型児童用PC全児童分配備完了		

	緑 小 学 校		
	所在：千歳市緑町4丁目4番1号 電話：0123-23-4107 創設：昭和32年4月1日 面積：敷地 17,901 m ² 、建築 6,500 m ²		
校長名	渡曾 朋広	教頭名	笠井 賢吾
教職員数	教員 26名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	15学級 410名 (うち特別支援学級 2学級8名) (通級指導教室 4学級58名)
教育目標	～ 私たちは 未来を創りともに進む 緑小の子ども ～ ・なかよく元気に遊びます・・・からだ(体) ・すすんで学び考えます・・・あたま(知) ・めあてをもって努力します・・・生きる力(意) ・人や地球にやさしくします・・・こころ(情) 【重点目標】『自ら学び、共に高め合い、より確かな学力と豊かな心を育む子ども』		
研究主題	「表現する力」を育てる算数科授業の創造 ～問いから学びを深める児童の育成～		
特色ある 教育活動	1 P T Aと共同で進める確かな学力の育成 ～マイディクショナリー事業・ディクショナリースタート事業～ 2 ボランティア活動(地域別異学年グループによる清掃・美化活動) 3 公立千歳科学技術大学の教授や学生との交流授業～理科・算数 プログラミング学習～ 4 プールや河川の水に対する安全教育～千歳川 川の安全学習体験～ 5 全学年でのアイヌ文化学習 6 ユネスコスクールとしての活動		
沿 革	昭和32年 4月 新設開校 昭和49年 4月 言語治療教室開設 昭和52年 9月 開校20周年記念式典挙行 昭和53年 4月 蘭越小学校と統合 昭和59年 1月 校舎増改築工事完了・引っ越し 昭和62年11月 開校30周年記念式典挙行 平成 7年 4月 言語通級指導学級開始 平成17年10月 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成18年 5月 千歳っ子見守り隊発足 平成19年12月 開校50周年記念式典挙行 平成20年 3月 北海道P T A広報誌コンクール審査員特別賞(北海道新聞社賞) お話会「びっころ」開始 12月 千歳市学校課題研究発表会開催 平成21年 5月 あそびの日 i n 千歳会場 8月 花いっぱいコンクール「優秀賞」受賞 平成23年 3月 ユネスコスクールに加盟 平成24年 4月 「学校力向上に関する総合事業」における近隣校に指定 5月 千歳市人権委員会から「人権の花」の贈呈 10月 お話会びっころ10周年記念 平成25年 9月 車椅子1台を千歳市社会福祉協議会へ寄贈(リングブル回収取組) 平成28年 1月 校内放送設備更新(デジタル化対応) 平成29年12月 開校60周年記念集会の開催 平成31年 3月 「緑小おやじの会」による6年生児童へのキャリア教育「おやじトーク」開催 令和元年 6月 ボイスワークトレーナー古田さんによる6年生の歌唱・発音指導 令和 3年 1月 G I G Aスクール構想に向けた校内無線L A N設置完了 4月 特別支援学級(かわせみ学級)開設		

	千 歳 第 二 小 学 校		
	所在：千歳市清流1丁目4番1号 電話：0123-23-2062 創設：大正9年12月13日 面積：敷地 24,107 m ² 、建築 5,662 m ²		
校長名	澁谷 拓	教頭名	大淵 徹
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	14学級 352名
教育目標	○よく考え 進んで学習する子 ○明るく 思いやりのある子 ○ねばり強く たくましい子 【重点目標】 ・学習指導の改善・充実による学力や体力の向上 ・教育活動全体を通じた豊かな心の育成 ・保護者・地域から信頼される学校づくりと推進 ・教職員の資質・能力や指導力を高める研究の充実 ・長時間勤務の改善を図る働き方改革の推進		
研究主題	『「できた！」を授業で実感する子どもの育成』 ～算数科の学習を工夫して～		
特色ある 教育活動	1 T・T・少人数指導の実施 (1) 学習意欲の向上、個人差の解消を目指すと共に、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。(算数科) (2) 千歳市学習支援員配置事業による少人数指導の実施(算数科) 2 特別支援教育の充実 (1) 校内の特別支援体制の整備と共に、スクールカウンセラー・特別支援教育支援員・心の教室相談員を効果的に活用し、子どもや保護者に対する教育相談の充実を図る。 3 放課後補充学習の取り組み (1) 放課後を活用して集中して取り組むことにより、学習のつまずきの克服や学習活動への意欲向上を図る。 4 地域の人材や団体との交流を通じた豊かな体験の機会の拡大 (1) 地域の老人クラブ(清流親和会)との交流(昔の遊び・花壇づくりなど) (2) 地域の人材を講師として、サケのふるさと千歳水族館(学芸員)の協力により、サケの誕生と成長(受精卵→孵化→稚魚)の体験学習と千歳川への稚魚放流活動。 (3) アイヌ文化の学習・・・伝統楽器(ムックリ)の演奏体験など。 (4) 幼稚園(児)との交流・・・近隣の幼稚園との相互交流 (5) キウス周堤墓群の学習・・・縄文時代の史跡の見学学習 (6) 地域学校協働活動の推進・・・本校独自の地域コーディネーター配置による外部人材を活用した教育活動 5 異学年交流 (1) 縦わり班による清掃や体力づくりの実施		
沿 革	大正 9年12月 千歳尋常小学校根志越分教場として開校 昭和21年 4月 千歳第二国民学校として独立 昭和22年 4月 千歳第二小学校となる 昭和43年 4月 泉郷小学校統合 昭和45年12月 開校50周年記念式典挙行 平成 4年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成11年 1月 サケの稚魚の飼育開始 3月 増築校舎完成(第1期) 平成12年11月 開校80周年記念公開授業研究会 平成15年 4月 少人数指導開始 平成18年 4月 二学期制実施 平成22年12月 開校90周年記念集会 平成23年 7月 東日本大震災にかかわり仙台市教育委員会へ教員派遣 (平成23年7月1日～平成24年3月31日) 平成26年 2月 第1回千歳市エコアクション賞受賞 平成27年 2月 第51回千歳市社会福祉善行表彰受賞 平成30年 1月 岡山市西大寺南小学校との交流会参加 令和 2年12月 開校100周年記念 タイムカプセル記念碑 建立 令和 4年 2月 開校100周年記念式典挙行		

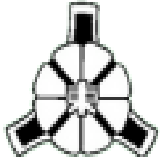
	駒 里 小 学 校		
	所在：千歳市駒里 945 番地 電話：0123-23-3237 創設：明治 39 年 9 月 1 日 面積：敷地 37,652 m ² 、建築 2,368 m ²		
校長名	北村 剛	教頭名	大西 かすみ
教職員数	教員 3 名 養護 1 名 事務 1 名	学級数 児童数	3 学級 13 名
教育目標	◎ やさしい子 (広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども) ◎ 進んで学ぶ子 (進んで学び、自ら考え、行動する子ども) ◎ 元気な子 (たくましい心と体をもった、元気な子ども) 【重点目標】 自他を思いやり、主体的に、最後まで粘り強く取り組む子の育成		
研究主題	「主体的に学ぶ子の育成」		
特色ある 教育活動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた学習 (3) 保小中の連携のもと、PTA・地域が一体となって行う各種行事 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン (2) 学校祭・餅つき会への地域の皆様の招待活動 (3) リングプル、ペットボトルのキャップ、ベルマーク等の回収 3 体力づくり (1) パークゴルフ (2) 歩くスキー (3) 中学校部活との連携 (バドミントン)		
沿 革	明治 33 年 6 月 千歳尋常小学校阿宇砂里分校として開校 明治 39 年 9 月 阿宇砂里簡易教育所となる 大正 12 年 9 月 阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和 22 年 4 月 阿宇砂里小学校となる 昭和 27 年 4 月 駒里小学校となる 昭和 29 年 9 月 開校 50 周年記念式典 昭和 61 年 11 月 開校 80 周年記念式典 平成 8 年 9 月 開校 90 周年記念式典 平成 10 年 10 月 全道へき地複式教育研究大会石狩大会会場 平成 15 年 4 月 交通安全キャンペーン表彰 平成 16 年 9 月 交通安全キャンペーン 20 年達成 平成 17 年 8 月 校舎外壁大規模補修完了 平成 18 年 11 月 小学校開校 100 周年記念式典、祝賀会開催 平成 19 年 5 月 石狩管内複式校新任者研究大会 平成 20 年 7 月 文科省指定 豊かな体験活動 平成 21 年 9 月 交通安全キャンペーン 25 年達成 平成 26 年 10 月 交通安全キャンペーン 30 年達成 平成 28 年 10 月 小学校開校 110 周年・中学校開校 60 周年記念行事実施 平成 30 年 6 月 コミュニティ・スクール導入		

	支 笏 湖 小 学 校		
	所在：千歳市支笏湖温泉2番地 電話：0123-25-2729 創設：昭和23年12月1日 面積：敷地13,277㎡、建築1,643㎡		
校長名	東峰 宏紀	教頭名	瀬野 裕子
教職員数	教員 3名 養護 1名	学級数 児童数	3学級 11名
教育目標	「たくましい心と体をもった 人間性豊かな児童の育成」 ・自ら考え、創造する子ども（知） ・明るく、協力する子ども（情） ・根気よく、実行する子ども（意） ・心身をきたえる子ども（体） 【重点目標】 ●学力向上～子ども一人一人の学習状況を踏まえた「確かな学力向上」の推進 ●ふるさと教育～家庭、地域と協働し、郷土に根差した「ふるさと教育」の推進		
研究主題	「自分の考えを持ち、自分の意志や判断に基づいて学習に取り組もうとする子どもの育成」 ～「主体的な学び」の視点に立った複式学級の授業改善～		
特色ある 教育活動	1 愛鳥モデル指定校～地域の豊かな自然環境を生かし、毎朝の給餌・観察等の活動を通し、環境問題について学習を深める 2 ヒメマス学習 ～地域の特産であるヒメマスについて、理科、社会化、生活科、総合学習等と関連付けて学習し、地域の自然環境や産業についての理解を深める。 3 鼓笛隊 ～全校児童で組織した鼓笛隊が、地域行事に参加し支笏湖地区に貢献することで自尊感情や自信、挑戦の意欲を育てる。 4 公園清掃 ～国立公園の清掃を地域住民、敬老会などの人々と行い、環境美化に努め、美しい自然環境を保つことの誇りを育てる。 5 「心の直行便」活動～高知県南国市立奈路小学校と、一年おきに相互学校訪問交流を行っている。手紙、作品類、収穫物交流などを通して気候や文化の違いを知り、離れた地域の友達、父母との「心の交流」により、豊かな情操を育てている。		
沿 革	昭和22年12月 烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和23年12月 支笏湖小学校の認可（現在のユースホステルに校舎完成） 昭和24年 1月 支笏湖小学校の開校式 昭和29年 7月 現在地に校舎完成 昭和43年11月 開校20周年記念式典挙行 昭和49年 7月 湖水まつり鼓笛パレード出演 12月 開校25周年記念式典挙行 昭和54年12月 開校30周年記念式典挙行 昭和57年 2月 現校舎防音・体育館完成 昭和60年 9月 道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和62年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成10年 8月 南国市立奈路小学校との交流 11月 開校50周年記念式・祝賀会挙行 平成18年 5月 北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功労）受賞 平成19年 5月 野生生物保護功労者表彰 平成25年 5月 愛鳥週間野生生物保護功労者表彰 環境大臣賞 受賞 平成28年11月 南国市立奈路小学校交流開始20周年 平成30年11月 開校70周年記念式典・祝賀会挙行 令和元年 9月 国立公園指定70周年記念「支笏湖学」環境大臣賞記念講演（若松幹男氏） 令和2年11月 奈路小学校訪問中止 オンライン交流 令和3年10月 公立千歳科学技術大学との学習 「みんなで作ろう！支笏湖で会える「ゆるキャラ図鑑」をビジュアルセンターで実施		

	日 の 出 小 学 校		
	所在：千歳市日の出2丁目3番20号 電話：0123-23-2670 創設：昭和41年12月1日 面積：敷地 20,706 m ² 、建築 5,891 m ²		
校長名	吉田 かおり	教頭名	山本 武
教職員数	教員 21名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	16学級 435名 (うち特別支援学級1学級1名)
教育目標	◎進んで学習する子(知) ◎思いやりのある子(情) ◎考えて行動する子(意) ◎元気に活動する子(体) 【重点教育目標】進んで学習に取り組み、優しさと思いやりのある児童の育成		
研究主題	課題意識をもち、解決する子 ～国語・算数における学び合い(主体的で対話的な学び)を通して～		
特色ある 教育活動	1 青葉中学校区一貫教育 ・小中一貫教育委員会において、各委員会で取組を推進 ・小中交流会で、3校の教職員の共通理解を図る ・第6学年で、青葉中学校教諭による理科専科授業 2 読書週間の形成 ・朝読書の取組 ・読書の日の設定 3 総合的な学習の推進 ・地域の教材や施設・設備を効果的に活用し、児童の資質能力を高める。 ・第3学年「サケのひみつを調べよう」・第4学年「川のかんきょうを考える」 ・第5学年「森が育む命のつながり」 ・第6学年「アイヌの歴史と文化」		
沿 革	昭和41年12月 新設開校 昭和42年 1月 開校記念式挙行 昭和51年 3月 祝梅小学校分離 6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成 8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業 平成24年10月 千歳市学校課題研究発表会開催 北海道算数数学教育研究大会石狩・千歳大会(小学校会場)開催 平成27年 4月 地域の学力向上支援事業拠点校 平成28年12月 開校50周年記念式典挙行 令和元年 5月 あそびの日inちとせ 会場校		

	信 濃 小 学 校		
	所在：千歳市信濃2丁目34番12号 電話：0123-23-4752 創設：昭和43年4月1日 面積：敷地19,413㎡、建築5,645㎡		
校長名	島田 路也	教頭名	三田村 要
教職員数	教員 20名 養護 1名 栄養 1名 事務 1名	学級数 児童数	16学級 395名 (うち特別支援学級3学級13名)
教育目標	○考える子 ○やさしい子 ○がんばる子 ○じょうぶな子 【重点目標】 みんないっしょに 笑顔でチャレンジしなのっ子 ○進んで学習する子 ○進んでなかよくする子 ○進んで運動する子		
研究主題	正確に読むことができる「信濃っ子」の育成		
特色ある 教育活動	1 ふれあい活動を通して思いやりの心や実践力の育成 ・見守り隊、幼稚園、保育園との交流 2 異学年交流を通して心の交流を図るとともに、自分達で遠足を企画させることに より、自覚と責任感を養う活動 3 A L Tによる英語を使った様々なゲームや歌、外国の文化（衣食住）に触れるク ラブ活動 4 危険予測力を高めることに重点を置いた安全指導の積極的展開 ・引き渡し訓練、災害図上訓練とそなえる見学 5 家庭との連携による体づくりの習慣化～「しなトレ」の推進 6 協働体制による基礎基本の確実な定着～習熟度別少人数指導、マッスルプリント の取組 7 地域学校協働活動と連携した体験学習の充実（栽培学習、創作活動）		
沿 革	昭和43年 4月 新設開校 昭和47年12月 体育館（講堂）完成 昭和48年 7月 開校5周年記念式典 昭和53年 3月 桜木小分離 10月 開校10周年記念式典挙行 昭和63年 1月 「信濃の森」購入 10月 開校20周年記念式典挙行 平成 2年11月 学校プール完成 平成 6年 4月 北陽小分離 平成10年 8月 開校30周年記念式典挙行 平成20年11月 開校40周年記念事業学校課題研究発表会 平成24年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣校 平成25年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣校 平成26年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成27年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成28年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 平成29年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣実践校 道徳教育推進事業指定校（12月公開研究会） 平成30年 4月 学校力向上に関する総合実践事業近隣連携校 8月 開校50周年記念式典挙行 11月 石教研学校課題研究発表会 平成31年 4月 特別支援学級開設 令和 2年 4月 学校運営協議会発足		

	高 台 小 学 校		
	所在：千歳市富丘1丁目19番4号 電話：0123-23-9109 創設：昭和45年4月1日 面積：敷地 21,844 ㎡、建築 5,068 ㎡		
校長名	松田 宏明	教頭名	池本 敦
教職員数	教員 22名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	15学級 277名 (うち特別支援学級4学級24名)
教育目標	広く深く豊かに生きぬく高台の子の育成を目指す 1. 深く考え 学び合う子 2. 広い心で 助け合う子 3. 心豊かに 生きぬく子 【重点目標】「自他の思いを大切に協議する子どもの育成」 ～どの児童にもおおむね満足の状態（子どもの変容）を保証する教育の推進～		
研究主題	自己の考えや思いを伝え合い、ともに学び合う児童の育成 ～一人一人が伝え合う学習を目指して～		
特色ある 教育活動	◎身近な「人」「文化」「自然」「施設」を生かした体験的な活動や各種ふれあい事業と児童の自主性を重視した活動を通して、「広く深く豊かに生きぬく高台の子」を育成する。 ○地域学習材の活用 ・学校花壇と栽培学習 ・サケの飼育と放流 ・公立千歳科学技術大学との連携 ○異学年・全校交流 ・フレンドリータイム（縦割り班活動） ・高台っ子ふれあいフェスティバル ・いじめNO！等の各種集会 ○地域人材の活用 ・サケ飼育の指導 ・CSによる授業支援（家庭、書写、水泳、スケート等） ○ボランティア活動 ・ユニセフ活動（社協との連携） ・いこいの森清掃		
沿 革	昭和45年 4月 新設開校 昭和54年 5月 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級開設 昭和55年11月 開校10周年記念式典祝賀会举行 平成 2年11月 開校20周年記念式典举行 平成12年 9月 小学校英会話学習モデル事業開始 10月 開校30周年記念式典举行 平成15年 3月 平成14年度北海道公立学校教育課程実践・石狩教育局長表彰 平成16年11月 千歳市学校課題研究発表会 平成18年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成20年 1月 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通じ交流 平成21年 5月 人権の花贈呈式 平成22年 5月 「あそびの日 in ちとせ高台小学校」会場校 平成23年 5月 非行防止教室開催 平成24年12月 冬休みの勉強会開催 平成25年 8月 夏休みの勉強会開催 平成26年 2月 全学級に電子黒板配備 平成27年11月 なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム児童会による提言発表 平成28年11月 特定防衛施設周辺整備外壁工事終了 平成29年 2月 千歳市コミュニティ・スクール研究指定校 平成30年12月 北海道道徳教育推進校事業 公開授業研究会開催 平成31年 4月 特別支援学級開設（知的・情緒・病弱） 令和 2年12月 開校50周年記念事業 航空自衛隊北部音楽隊演奏会開催		

	東 小 学 校		
	所在：千歳市東丘 824 番地の 30 電話：0123-21-3200 創設：昭和 46 年 1 月 1 日 面積：敷地 16,675 m ² 、建築 2,184 m ²		
校長名	高橋 基	教頭名	高橋 良枝
教職員数	教員 6 名 養護 1 名 事務 1 名	学級数 児童数	4 学級 28 名
教育目標	「思いやる心で たくましく 学びつづける 東っ子」 【重点目標】 みんな仲良く（支持・親和） 最後までやり抜く（自立・自律）深く考える（探求・創造） ～すすすく（すなお） どんどん（たくましさ） ぴかぴか（ひらめき）～		
研究主題	「主体的に考え、進んで学び続ける、心豊かな子どもの育成」 ～ 東小教育のUD（ユニバーサルデザイン）を通して ～		
特色ある 教育活動	1 農業体験活動 ・学校田（米）を活用して、田植え・観察・収穫・脱穀・もちつきまでの活動 2 ボランティア・交流活動 ・地域清掃（小中合同、地域） ・千歳小・北進小学校や市内小規模 2 校（駒里小・支笏湖小）との交流活動 3 ふるさと教育 ・東千歳合同運動会（小中合同、地域）、学芸会など、地域と一体の行事 ・栽培活動集会、もちつき集会、百人一首集会など、地域の方の協力による活動 4 パレットタイム ・「国語・算数を中心としたくり返し学習」「朝読書」「体力づくり」を実施 5 縦割り班（異学年）活動 ・花壇作業、らんらん給食、稲作体験 6 小中連携・一貫教育 ・東千歳中学校との連携 ・合同行事・授業、教職員研修の実施		
沿 革	昭和 46 年 1 月 幌加小、協和小、東丘小の 3 校統合開校 昭和 55 年 11 月 開校 10 周年記念式典挙行 平成 2 年 11 月 開校 20 周年記念式典挙行 平成 10 年 10 月 全道へき複大会第 5 分科会会場校 平成 12 年 12 月 開校 30 周年記念式典挙行 平成 13 年 9 月 コンピュータ室整備 10 月 学校林記念植樹 平成 14 年 10 月 石教研へき複部会研究集会 平成 23 年 1 月 開校 40 周年記念を祝う会開催 9 月 全道へき複研究大会石狩プレ大会第 4 分科会会場校 平成 24 年 9 月 全道へき複研究大会石狩大会第 4 分科会会場校 平成 27 年 4 月 電子黒板設置・デジタル教科書導入 平成 28 年 7 月 校舎大規模改修 8 月 花いっぱいコンクール最優秀賞 平成 29 年 8 月 体育館耐震改修工事 平成 30 年 9 月 台風 21 号被害（学校林 倒木・伐採） 平成 31 年 3 月 コンピュータ室パソコン更新 令和 2 年 1 月 職員室校務用パソコン更新 11 月 開校 50 周年記念植樹 令和 3 年 11 月 開校 50 周年記念事業としてステージ幕を新調 12 月 開校 50 周年記念式典挙行		

	祝 梅 小 学 校		
	所在：千歳市梅ヶ丘 3 丁目 2 番 1 号 電話：0123-23-1110 創設：昭和 51 年 4 月 1 日 面積：敷地 20,571 m ² 、建築 6,371 m ²		
校長名	岩崎 愛彦	教頭名	中村 達矢
教職員数	教員 18 名 養護 1 名 事務 1 名 栄養 1 名	学級数 児童数	11 学級 235 名 (うち特別支援学級 3 学級 19 名)
教育目標	『すくすく のびのび』 みとめ合い、まなび合い、たかめ合い、きたえ合う 祝梅っ子 【重点教育目標】 夢に向かって 主体的に 行動する子を育む ～ 言葉 & 思いやり & 健康 ～		
研究主題	情報活用能力を高めながら学ぶ子どもの育成 ～ICT 機器を用いた個別最適な学び・協働的学びの実現に向けて～		
特色ある 教育活動	1 環境教育 (1) 植物栽培活動(学校花壇、教材園) (2) 飼育活動(サケの飼育活動、サケの交流事業、金魚の飼育活動) 2 人権教育 (1) 道徳教育の充実(特別な教科「道徳」、各教科、人権教室、福祉体験学習、ありがとう集会) 3 学力向上の取組 (1) 自学ノート、新聞 DAY、定期テスト、祝梅タイム(学力向上 DAY 等) 4 体力向上の取組 (1) 全学年の統一したウォーミングアップの取組、体育専門教員による全学年新体力テスト実施、日常的に体力テストに取り組む環境整備、ひと月に 1 週間のアクティブ・ウィークの実施 5 4 期のサイクル (1) わくわくステージ(4 月～ 6 月)自分の目標を意識し、進んで取り組む期 (2) のびのびステージ(7 月～ 9 月)自分の良さを伸ばす期 (3) じっくりステージ(10 月～ 12 月)前期を振り返り、自分を見つめじっくり取り組む期 (4) しっかりステージ(1 月～ 3 月)今までの自分を振り返り、新学年につなげる期		
沿 革	昭和 51 年 4 月 新設開校 昭和 55 年 9 月 開校 5 周年記念式典挙行 昭和 60 年 11 月 開校 10 周年記念式典挙行 平成 6 年 1 月 豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成 7 年 11 月 開校 20 周年記念式典挙行 平成 10 年 1 月 岡山県西大寺南小学校とサケ飼育を通しての交流を始める 平成 17 年 12 月 開校 30 周年記念式典挙行 平成 22 年 3 月 多目的トイレ完成 平成 23 年 4 月 学校教育目標の改訂、新しい図書スペース「図書の森」完成 平成 24 年 9 月 体育館耐震改修工事完了 平成 25 年 4 月 あさがお(知的、情緒)学級開設 11 月 校舎改修工事(外壁塗装・防水・普通教室改修等) 平成 27 年 9 月 千教振学校課題研究発表会 11 月 開校 40 周年を祝う会挙行 令和 元年 10 月 体育館暖房機入替工事完了 令和 2 年 11 月 管理棟・東校舎暖房機入替 12 月 校内無線 LAN 設置、教室 PC、児童タブレット PC 40 台設置完了 令和 3 年 4 月 職員女子トイレ 1 か所改築 6 月 グラウンド周辺の老木伐採完了		

	桜 木 小 学 校		
	所在：千歳市自由ヶ丘7丁目1番1号 電話：0123-22-3301 創設：昭和53年4月1日 面積：敷地 24,370 m ² 、建築 5,550 m ²		
校長名	玉腰 武	教頭名	重山 麻人
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	14学級 307名 (うち特別支援学級2学級2名)
教育目標	自ら学び心豊かでたくましい桜木の子 ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○明るくたくましい子 ＜重点教育目標＞ 『すべては子どもたちの笑顔のために』 ～日々成長を実感できる学校～ ★基礎基本や学び方を重視し、自ら学び自ら考える力をはぐくむ教育の推進 ★豊かな心を培い、社会性を育む教育の推進		
研究主題	自ら学び自ら考える子の育成 ～国語科の「詠むこと」の学習を通して～		
特色ある 教育活動	○学力向上を目指して ・「学びの約束」の提示と定着 ・補充学習（チャレンジタイム）の実施 ・自主的に取り組む学習プリント（チャレプリ）の活用 ・朝の読書活動の推進 ・学生ボランティアを活用した長期休業中の補充学習の実施 ・生活リズムチェックシートを活用した家庭での生活習慣の改善 ・工夫した学習ノートの掲示と意欲喚起（キラリノート） ○体力向上を目指して ・校内に運動スペースの設置		
沿 革	昭和53年 4月 新設開校 昭和62年10月 開校10周年記念式典挙行 平成元年11月 桜木博物館、桜木学習公園完成 平成 8年 2月 サイパン島ガラパン小学校と姉妹校盟約締結 平成10年11月 開校20周年記念式典挙行 平成16年 2月 石狩教育実践奨励表彰受賞 5月 すこやか農園造成 平成19年10月 石教研学校課題研究発表会 12月 開校30周年記念式典挙行 平成20年 8月 ミレニアムタイムカプセル開封式 平成21年 3月 環境省「こどもホタレンジャー」優秀賞受賞 平成22年11月 第一回桜木メッセージ開催 平成24年 4月 学校力向上に関する総合実践事業指定校（道教委） 8月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成25年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成26年 4月 学校の教育目標の改訂 6月 引き渡し訓練の実施 平成27年12月 学校力向上に関する総合実践事業研究協議会開催 平成28年 4月 平成28年度千歳市体力向上実践指定校 平成29年 8月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成30年12月 学校力向上に関する総合実践事業地域連携研修講演会開催 令和元年12月 桜木小学校授業改善研修会開催		

	向陽台小学校		
	所在：千歳市若草 5 丁目 1 番地 電話：0123-28-2111 創設：昭和 57 年 4 月 1 日 面積：敷地 28,468 m ² 、建築 6,761 m ²		
校長名	木谷 金吾	教頭名	鳴海 孝則
教職員数	教員 12 名 養護 1 名 事務 1 名	学級数 児童数	10 学級 133 名 (うち特別支援学級 4 学級 5 名)
教育目標	『明るく豊かな心とたくましい体を持ち、進んで自ら創造し実践する子どもの育成をめざす』 ○すすんで考える子 ○すなおで 思いやりのある子 ○ねばり強く やりぬく子 ○明るく たくましい子 【重点教育目標】 自ら学び思いやりをもってたくましく生きる向陽っ子		
研究主題	『ともに学び、心豊かに表現できる子どもの育成 ～向小アプローチによる国語科の授業を通して～		
特色ある 教育活動	1 花と小鳥と緑を愛する活動（北海道愛鳥モデル指定校） 2 異学年集団活動（向陽っ子タイム） 3 地域の人材を生かした活動（千歳市学校支援地域本部事業～水泳・スキー、スケート指導補助） 4 地域高齢者とのふれあい活動（特別支援学級ミニ運動会） 5 家庭学習の習慣化（小中一貫家庭学習手引の配布、自学ノートの表彰） 6 可能性を伸ばす特別支援教育（交流・体験学習等を取り入れた教育活動） 7 学校図書館の地域開放（PTA 図書ボランティア「森ック」との連携）		
沿 革	昭和 57 年 4 月 新設開校 平成 4 年 10 月 開校 10 周年記念式典挙行 平成 5 年～ 毎年、市や北海道の花いっぱいコンクールに応募し、優秀賞・優良賞・奨励賞等を受賞 平成 6 年 4 月 北海道愛鳥モデル校指定 平成 9 年 3 月 泉沢小学校分離 平成 10 年 4 月 あおぞら（情緒、知的障害）学級開設 平成 11 年 3 月 全道 PTA 広報紙コンクール優秀賞受賞 平成 13 年 1 月 開校 20 周年を祝う集い 平成 14 年 6 月 学校図書館地域開放 平成 15 年 4 月 難聴学級開設 平成 16 年 4 月 肢体不自由学級開設 平成 18 年 9 月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成 19 年 5 月 北海道社会貢献賞 野生鳥獣保護功労者受賞 平成 20 年 2 月 文部科学省指定 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」公開研究会開催 1 2 月 北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成 21 年 8 月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成 22 年 8 月 千歳市花いっぱいコンクール特別賞受賞 平成 23 年 10 月 文部科学省 読書活動優秀実践校表彰 1 2 月 開校 30 周年記念式典挙行 平成 24 年 4 月 北海道愛鳥モデル指定校 平成 26 年 8 月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 2 年連続受賞 平成 27 年 7 月 大規模改修開始（～平成 28 年 1 月） 8 月 千歳市花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成 28 年 2 月 千歳市社会福祉協議会「社会福祉善行表彰（ボランティア活動）」受賞 1 1 月 体力向上パートナーシップ形成事業実践研究指定校 平成 29 年 7 月 校舎給水管改修工事（～8 月） 8 月 千歳市花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成 30 年 10 月 平成 30 年度千歳市学校課題研究発表会 令和 2 年 10 月 地域社会貢献工事施行（グラウンド暗渠工事、駐車場ライン引き等） 令和 3 年 開校 40 周年記念の年 1 0 月 地域社会貢献工事施行（表、裏駐車場工事、西庁舎階段 LED 化） 令和 4 年 5 月 社会貢献工事施行（教材園の周囲に鹿対策の囲い設置）		

	北 陽 小 学 校		
	所在：千歳市北陽3丁目9番1号 電話：0123-42-3441 創設：平成6年4月1日 面積：敷地 26,056 m ² 、建築 9,619 m ²		
校長名	野尻 一裕	教頭名	鶴羽 伸介
教職員数	教員 49名 養護 2名 事務 2名	学級数 児童数	32学級 878名 (うち特別支援学級4学級19名)
教育目標	◎自分や友だちのよさを生かし、心を豊かにしようとする子どもの育成 (情)思いやりをもち、助け合う子(やさしい子) (意)目標に向かって、努力する子(がんばる子) (知)自ら学び、深く考える子 (考える子) (体)進んで体をきたえる子 (元気な子) 【重点教育目標】 『自己有用感の向上』 進んで学び、自他のよさを認めなかよく活動できる子どもの育成 ～支持的風土の学級づくりと授業改善を通して～ ◎支持的風土の学級づくり ・児童理解に徹し、子どもたち一人ひとりの個性を生かし、「認め・励ます」指導を行う。 ◎授業改善 ・授業評価を実施し、「わかる・楽しい授業」づくり等の授業改善を図る。 ・「書くこと」に焦点化した「自分だけのノート」づくりの取組を進める。 ・ICT機器の活用を推進する。 ◎個に応じた指導の充実 ・学級担任一人だけではなく多くの教職員が関わる仕組みづくり ・UDL (ユニバーサルデザインの授業) ・ひらがな、カタカナの読み書き検定の実施		
研究主題	個別最適な学びに向かう児童の育成 「指導の個別化」「学習の個性化」が有効に機能する単元 (授業) 構成を通して		
特色ある 教育活動	○生活・学習の仕方の基本事項の指導 (凡事徹底) ○認め・励ます支持的風土の学級づくりと児童の自己有用感を高める取組 ○自己の生き方を考え深める道徳の授業づくりと道徳教育の充実 ○コミュニティ・スクールと小中連携・一貫教育の推進 ○コーディネーショントレーニングの活用と教科体育の充実 ○日本語指導が必要な児童への対応 ○関係機関と連携した特別支援学級、通級指導教室における教育活動の推進 ○専科教員による外国語活動・外国語科授業 ○健康、安全に関する指導の充実 (食物アレルギー対応等含む) ○1人1台端末の活用		
沿 革	平成 6年 4月 新設開校 平成 9年 3月 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年 1月 増築校舎完成 平成11・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月 プール完成 平成12・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業「学社融合推進モデル事業」校 平成14年 7月 学校図書館地域開放開始 平成15年11月 開校10周年記念式典 平成18年 5月 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年 3月 増築校舎完成 平成21年 3月 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞 平成22年 1月 新校舎1・2階教室改築工事完了 平成23年 3月 図書室・図工室・普通教室改築、校長室移設、職員室拡充工事完了 平成24年 3月 プレハブ校舎増築完了 6月 保護者引取型下校訓練実施 平成25年11月 開校20周年記念式典 平成26年 3月 職員室拡充・第二児童玄関・第二理科室・普通教室他増築 8月 新校舎外構整備工事完了 11月 児童用タブレット端末導入 平成27年 6月 午前・午後による二部制の運動会実施 平成29年 8月 児童トイレ拡充工事完了 平成30年 8月 バックネット、グラウンドへの通路舗装工事完了 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 令和元年12月 分離校校名「千歳市立みどり台小学校」に決定 令和 2年 8月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 令和 3年 3月 全道PTA広報紙コンクール審査員特別賞受賞		

	泉 沢 小 学 校		
	所在：千歳市柏陽2丁目9番地 電話：0123-28-5830 創設：平成9年4月1日 面積：敷地 32,022 m ² 、建築 5,409 m ²		
校長名	安倍 由里香	教頭名	長坂 文彦
教職員数	教員 16名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	12学級 208名 (うち特別支援学級3学級9名)
教育目標	「明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢」 ○思いやりをもち、助け合う子(情) ○ねばり強く、がんばりぬく子(意) ○進んで学び、深く考える子(知) ○明るき元気で、たくましい子(体) 【重点目標】 「笑顔と思いやりをもつ たくましい子の育成」 ～気づきと行動の実践による成長～		
研究主題	学習の基盤となる言語能力の育成 ～各教科等における資質・能力の育成に向けて読解力の観点からの授業改善～		
特色ある 教育活動	<地域を生かした教育活動の推進> (1) 総合的な学習の時間・・・地域素材(人・社会・自然)活用した探求的な学習 (2) 泉沢小の「かがやきの森・学校林」を生かした自然体験活動や環境教育 (3) 臨空工業団地を生かした教材づくりと教育活動 (4) 向陽台の諸施設(リハビリ学院・航空学園など)を生かしたキャリア教育 (5) 老人ホーム・車椅子体験等、福祉教育、ボランティア活動の推進 (6) サケのふるさと千歳水族館の協力による、サケの採卵・飼育・放流体験学習		
沿 革	平成 9年 4月 新設開校 平成10年 9月 泉ザ・ワールド開催 平成11年 6月 卒業記念植樹 平成14年11月 千歳市学校課題研究指定発表会 平成15年 9月 英会話学習開始 平成16年10月 台風により学校林20本倒木 平成17年10月 開校10周年記念事業準備委員会発足 平成18年 5月 開校10周年記念大運動会実施 10月 開校10周年記念・石教研指定学校課題研究発表会開催 11月 開校10周年記念式典挙行 平成19年11月 全校道徳実施 平成20年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 5月 第2回全校道徳実施 平成21年 2月 「遊々の森」認定書締結式 5月～11月 「かがやきの森」整備開始 平成22年 2月 第3回全校道徳実施 平成23年11月 第4回全校道徳実施 平成25年 2月 第5回全校道徳実施 平成26年 1月 第6回全校道徳実施 9月 千歳市学校課題研究発表会・石狩管内教育機器活用研究大会 平成27年 2月 第7回全校道徳実施 平成28年 2月 第8回全校道徳実施 12月 開校20周年を祝う会 第9回全校道徳実施 平成29年12月 第10回全校道徳実施 平成30年 7月～9月 体育館屋根耐震工事 令和 2年 1月 コンピュータ室パソコン更新 2月 職員用パソコン更新 令和 3年 4月 特別支援学級開設(知的・情緒各1学級) 令和 4年 4月 特別支援学級増設(知的1・情緒1・肢体1) 8月 GIGA スクール構想開始(児童一人一台端末機設置、一学級一台電子黒板設置、高圧無線LAN設置)		

	みどり台小学校		
	所在：千歳市みどり台北5丁目3番1号 電話：0123-40-2510 創設：令和4年4月1日 面積：敷地 28,671 m ² 、建築 7,661 m ²		
校長名	渡辺 弘行	教頭名	林 克也
教職員数	教員 27名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	20学級 607名
教育目標	未来をひらき、たくましく生きるみどり台小学校の子ども ○豊かな心 ○確かな学力 ○健やかな体		
研究主題	個別最適な学びに向かう児童の育成 「指導の個別化」「学習の個性化」が有効に機能する単元（授業）構成を通して		
特色ある 教育活動	○生活・学習の仕方の基本事項の指導（凡事徹底） ○認め、励ます支持的風土の学級づくりと児童の自己有用感を高める取組 ○自己の生き方を深く考え深める道徳の授業づくりと道徳教育の充実 ○コミュニティ・スクールと「小小連携」、小中連携・一貫教育の推進 ○コーディネーショントレーニングの活用と教科体育の充実 ○日本語指導が必要な児童への対応 ○関係機関と連携した特別支援教育の推進 ○専科教員による理科授業 ○健康、安全に関する指導の充実（食物アレルギー対応、スクールバス運行含む） ○1人1台端末の活用		
沿革	令和 4年 4月 新設開校		

2 中学校

	千 歳 中 学 校		
	所在：千歳市栄町4丁目35番地 電話：0123-23-3161 創設：昭和22年6月4日 面積：敷地24,482㎡、建築6,782㎡		
校長名	金森 直人	教頭名	杉浦 浩
教職員数	教員 31名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	17学級 538名 (うち特別支援学級2学級13名)
教育目標	柏葉の精神を育み、信愛を深める教育 豊かな心、確かな力、健やかな心身、広い視野の育成 ＜重点教育目標＞主体的に学び 心豊かに行動し 最後までやり切る生徒の育成 ～夢や希望をもち、未来をたくましく生きる～		
研究主題	「ICTを活用した授業展開による、将来に生きる学びができる生徒の育成」 ～GIGAスクール構想を踏まえた、ICT等を活用した、生徒への学習支援や対話的学習方法の検討を通して～		
特色ある教育活動	1 公立千歳科学技術大学との連携による学習活動(SPP)：1年生を対象にした理科の実験授業 2 PTAの活動 環境整備、地域との交流、研修活動、親睦活動、バザーへの協力 3 地域との交流、ボランティア活動 生徒会による各種募金活動、地域清掃、地域の方々と共に花を植える花壇ボランティア活動、落ち葉拾い		
沿 革	昭和22年 6月 新設開校 9月 校章を制定 昭和24年 6月 校歌制定 昭和26年 3月 新校舎完成(現在地) 昭和29年 3月 体育館完成 昭和37年11月 鉄筋コンクリート三階建校舎完成 12月 完全防音、温風暖房機付講堂(兼体育館)完成 昭和52年10月 開校30周年記念式典挙行「記念誌発行」 平成元年 4月 はまなす学級開設 平成 5年 1月 コンピュータ教室工事完了 平成 9年11月 開校50周年記念式典挙行「記念誌発行・校旗更新」 平成10年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成12年 2月 平成11年度北海道教育実践奨励表彰受賞 平成14年 2月 安全対策整備工事完了(玄関オートロック式施錠、テレビドアホン等) 平成16年 3月 はまなす学級改修工事完了 平成18年 8月 2階東校舎教室改修工事完了 平成19年10月 「柏葉の像」修復・塗装完了(奈良昌美先生・同窓会協賛事業) 平成20年 3月 開校60周年記念講演会 平成21年 9月 管理棟・教室棟・西校舎ボイラー交換(天然ガス化) 平成22年 8月 生徒用トイレ改修工事完了 10月 耐震工事(東・西・管理棟・体育館)完了 平成23年 1月 理科室、水飲み場、防火扉改修工事完了 平成24年 4月 真町中学校と統合 平成26年 1月 平成25年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(卓球) 平成27年 9月 体育館天井耐震化工事完了 平成28年 1月 平成27年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(野球) 平成29年 1月 平成28年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(野球、剣道) 平成29年10月 開校70周年記念式典挙行 平成30年 1月 平成29年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(剣道) 平成31年 1月 平成30年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(剣道) 3月 絵画「秋日和・柏の大地」寄贈(伊藤光悦先生作 第21期卒業生寄贈) 令和元年10月 西校舎外壁・廊下天井、調理室下配管、エレベーター機器刷新工事終了 令和 3年 7月 トイレ様式化へ改修工事 11月 防球フェンス改修工事		

	北 進 中 学 校		
	所在：千歳市北栄1丁目2番6号 電話：0123-23-3439 創設：昭和37年4月1日 面積：敷地 10,642 m ² 、建築 2,853 m ²		
校長名	野澤 孝志	教頭名	杉原 大樹
教職員数	教員 9名	学級数 生徒数	知的障がい 2学級12名 自閉症・情緒障がい 2学級12名 計 4学級24名
教育目標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子(知) ・かかわりをもてる子(情) ・たくましく生きる子(意・体) 【重点目標】 自分の考えをもち、表現しようとする子どもの育成 ～「担い」「認め合う」ことで培う自己有用感～		
研究主題	自己表現の力を育成する授業づくり ～ICTの活用の可能性を探る～		
特色ある 教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を生かした小中一貫教育の推進 2 自己決定や社会参加を見通した教育活動 (体験学習、ソーシャルスキルトレーニング-SST-) 3 個別の指導計画の作成とインフォームドコンセントおよびアカウンタビリティの推進 4 生徒一人一人の個性を生かし、かつ、大きな集団の良さを生かした教育活動 5 健常者との交流学习 6 他校の生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和37年 4月 千歳中学校に特殊学級設置認可 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転(現校舎) 昭和41年 4月 千歳中の北栄分校と称する 昭和46年 4月 北進中学校と称する 昭和47年 3月 北進中学校第1回卒業式 昭和49年10月 開校15周年記念式典挙行 昭和53年 4月 情緒障害学級開設認可 平成 3年 3月 開級30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年 2月 開級40周年記念祝賀会、開校30周年記念祝賀会 平成18年 2月 北海道教育実践表彰受賞 10月 コンピュータ入れ替え 平成23年12月 開校40周年をお祝いする会 平成24年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 平成26年 9月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成27年 9月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成28年 8月 体育館非構造部材耐震工事、花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成29年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞 校長住宅解体 平成30年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 令和元年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 10月 市内音楽発表会(小・中)初参加 令和 2年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 令和 3年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 11月 「開校50周年をお祝いする会」開催		

	青 葉 中 学 校		
	所在：千歳市豊里4丁目1番1号 電話：0123-23-4147 創設：昭和32年8月29日 面積：敷地 25,601 m ² 、建築 6,533 m ²		
校長名	加藤 秀典	教頭名	鈴木 元次
教職員数	教員 22名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	12学級 322名 (うち特別支援学級3学級8名)
教育目標	「21世紀の担い手として活躍する人間性豊かな生徒の育成」 すぐれた知性（知） 豊かな情操（徳） 強靱な意志と体力（体） 主体的な行動力（生きる力） 教育課題（本年度の重点課題） 青中3C(Chance, Change, Challenge)で「日々、自己ベスト更新」 一人一人に「目をかけ、手をかけ、声をかけ」 一人一人を「認めて、褒めて、励まし、伸ばす」を基本姿勢として		
研究主題	主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～「青中8つの力」をとおして～		
特色ある 教育活動	1 自治活動 挨拶運動・各種募金活動や各種集会運営・学習点検・青葉の一等生・AT（青葉ソリー）・ありがとうフェアなどユニークな活動を展開し、自治活動の高揚に向けた取り組みを積極的に実施。生徒会による「いじめ撲滅宣言」の採択など、アンケートや学級・学年の取組を実施している。 2 集会指導 入退場時に、列と服装の乱れ、私語、イスの持ち方を徹底させるとともに、生徒の集会態度や役員の進行やプレゼンテーションに、生徒自らが生徒会委員会活動の1つとして監査を行う。 3 朝読書 全校読書を完全実施してから13年目となり、生徒の学校生活に定着している。1日の学校生活が読書の静寂からスタートしている。点検および指導が生徒会委員会の活動の1つとなっている。 4 「PERSONAL BEST」と「PB タイム」の活用 生徒全員に、スケジュール手帳（PERSONAL BEST）を持たせ、家庭での生活や学習のスケジュール管理を行うことにより、家庭学習を増やしていく。また、手帳の記入を一日の振り返りと組み合わせ、帰りの学活の時間（PB タイム）に取り組む。		
沿 革	昭和32年 8月 千歳中学校より分離・新設開校 昭和47年 1月 真町中学校新設のため分離 昭和48年 1月 現在地に校舎移転 昭和50年 3月 富丘中学校新設のため分離 昭和56年 2月 生徒増に伴い増築校舎完成 平成 2年12月 プレハブ校舎完成 平成 5年 1月 コンピュータ室完成 平成19年 6月 耐震工事、大規模改修工事 10月 開校50周年式典、祝賀会 平成21年 3月 全道PTA広報誌コンクール特別賞受賞 平成22年 4月 穂積雅子氏凱旋報告会（バンクーバー五輪銀メダリスト） 平成24年12月 毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト優秀賞 平成25年 7月 全道中体連陸上大会男子砲丸投げ優勝 8月 全国中体連陸上大会出場 大規模改修工事（体育館壁面・放送機材等） 平成26年 2月 全国中体連スケート大会女子1500m・3000m優勝 平成26年 4月 北海道教育委員会地域の学力向上支援事業拠点校 平成27年 2月 全国中体連スケート大会女子1500・3000m準優勝 10月 ジュニアオリンピック女子共通ジャベリックスロー 出場 平成28年 2月 全国中体連スケート大会女子 500m5位入賞 平成29年 1月 千歳市コミュニティスクール調査研究指定 12月 千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践モデル校区指定 平成30年 4月 北海道教育委員会小中一貫教育支援事業指定校 平成31年 4月 新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業指定校 令和元年11月 石教研学校課題研究発表会 令和 3年 4月 千歳市学力向上検討委員会モデル校		

	東 千 歳 中 学 校		
	所在：千歳市幌加 731 番地の 117 電話：0123-21-3300 創設：昭和 27 年 4 月 1 日 面積：敷地 20,237 m ² 、建築 1,986 m ²		
校長名	加藤 暢	教頭名	和田 啓司
教職員数	教員 5 名 養護 1 名 時間講師 1 名 事務 1 名	学級数 生徒数	3 学級（1・2 年複式、3 年単式 特支 1） 13 名 （うち特別支援学級 1 学級 1 名）
教育目標	◎確かな学力（知） ◎豊かな心（情） ◎責任ある行動（徳） ◎たくましい心身（体） 【重点目標】 自ら学び 表現力を磨き 共に高め合う 生徒の育成		
研究主題	主体的に学びに向かう生徒の育成 ～各教科における「見通し」「振り返り」を重視した学習の工夫を通して～		
特色ある 教育活動	・柏タイム（総合的な学習）・パークゴルフ大会・地域の人たちとの校外清掃・地域保育所への訪問活動・地域の人を講師に迎え、全校道徳・アイヌ文化学習・学校農園作り・地域の人を講師に迎え、陶芸教室・花壇整備活動・地域の人を講師に迎え、かるた大会・小中合同運動会・ボランティア活動（国際協力）		
沿 革	昭和 22 年 6 月 幌加中学校として幌加小学校に併設して開校		
	昭和 27 年 4 月 東千歳中学校として独立		
	昭和 31 年 12 月 屋内体育館完成		
	昭和 38 年 12 月 東雲寮完成		
	昭和 45 年 12 月 スクールバス運行開始 東雲寮閉鎖		
	昭和 49 年 3 月 校舎改築完成		
	昭和 51 年 3 月 防音講堂（屋体）完成		
	昭和 57 年 11 月 開校 30 周年記念式典挙行		
	平成 4 年 7 月 開校 40 周年記念事業、パークゴルフ場完成		
	平成 5 年 4 月 学校教育目標改定		
	7 月 学校給食センター東千歳調理場閉鎖		
	平成 6 年 9 月 ふるさとふれあいパークゴルフ場完成		
	平成 7 年 2 月 コンピュータ教室設置		
	平成 20 年 1 月 第 6 回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞		
	平成 24 年 8 月 千歳市「花いっぱいコンクール」中学校の部 名誉花壇賞受賞		
	12 月 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール「農林水産大臣賞」受賞		
	平成 25 年 12 月 アートグランプリ in SAKAI「文部科学大臣賞」「読売テレビ賞」受賞		
	国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール「林野庁長官賞」		
	「国土緑化推進機構理事長賞」受賞		
	平成 26 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道知事賞」「石狩振興局長賞」受賞		
	7 月 全国学校秀作美術展「読売新聞社賞」「特選」受賞		
	10 月 馬の絵作品「北海道知事賞」受賞		
	12 月 国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクール「農林水産大臣賞」受賞		
	平成 27 年 1 月 アートグランプリ in SAKAI「毎日新聞社賞」受賞		
	3 月 玄関オートロック工事完了		
	7 月 全国学校秀作美術展「文部科学大臣賞」受賞		
11 月 校舎・講堂ボイラー入れ替え工事終了			
平成 28 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道知事賞」「石狩振興局長賞」受賞			
6 月 全国学校秀作美術展「日本美術教育理事長賞」「特選」受賞			
9 月 馬の絵作品「文部科学大臣賞」受賞			
11 月 アートグランプリ in SAKAI「堺市教育委員会教育長賞」受賞			
平成 29 年 1 月 放送施設設備工事完了			
7 月 我ら海の子展「山縣記念財団理事長賞」			
11 月 アートグランプリ in SAKAI「堺市文化振興財団賞」受賞			
12 月 北海道赤レンガ建築賞 30 周年記念アートコンテスト「最優秀賞」受賞			
平成 30 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道教育長賞」「石狩振興局長賞」受賞			
6 月 リサイクルアート・エクスハイビジョン 2018「優秀賞」受賞			
7 月 馬の絵作品展「学校賞」受賞			
8 月 我ら海の子展「金賞」受賞			
11 月 牛やミルクのある風景画コンクール「北海道知事賞」「北海道教育長賞」受賞			
緑化活動啓発ポスターコンクール「北海道教育長賞」受賞			
平成 31 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道教育長賞」「石狩振興局長賞」受賞			
令和 元年 7 月 リサイクルアート展 2019「優秀賞」受賞			
11 月 全国書画展「内閣総理大臣賞」受賞			
12 月 アートグランプリ in SAKAI「堺ライオンズクラブ賞」受賞			
令和 2 年 12 月 アートグランプリ in SAKAI「堺 9 ロータークラブ賞」受賞			
令和 3 年 1 月 緑化活動啓発ポスターコンクール(全国)「国土緑化推進機構理事長賞」受賞			
令和 3 年 9 月 馬の絵作品展 北海道知事賞受賞			
11 月 千歳市民文化表彰 千歳市民文化奨励賞受賞			

	駒 里 中 学 校		
	所在：千歳市駒里 945 番地の 6 電話：0123-23-3237 創設：昭和 31 年 1 月 1 日 面積：敷地 37,652 m ² 、建築 2,368 m ²		
校長名	北村 剛	教頭名	大西 かすみ
教職員数	教員 7 名	学級数 生徒数	2 学級 12 名
教育目標	◎ やさしい子（広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども） ◎ 進んで学ぶ子（進んで学び、自ら考え、行動する子ども） ◎ 元気な子（たくましい心と体をもった、元気な子ども） 【重点目標】 自他を思いやり、主体的に、最後まで粘り強く取り組む子の育成		
研究主題	「主体的に学ぶ子の育成」		
特色ある 教育活動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる （1）農園活動学習、農業体験学習 （2）地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた課題解決学習 （3）保小中の連携のもと、PTA・地域が一体となって行う各種行事 2 ボランティア活動 （1）交通安全キャンペーン （2）学校祭・餅つき会への地域の皆様の招待活動 （3）ベルマーク等の回収 3 体力づくり （1）パークゴルフ （2）部活動（バドミントン・卓球）		
沿 革	昭和 24 年 12 月 千歳中学校阿宇佐里分校設置 昭和 31 年 1 月 駒里中学校として独立・小学校併置 昭和 32 年 7 月 校旗・校歌を制定 昭和 36 年 12 月 屋内体育館落成 昭和 51 年 8 月 グラウンド整地工事完了 昭和 55 年 2 月 新校舎開設 昭和 61 年 11 月 中学校開校 30 周年記念式典 平成 5 年 10 月 コンピュータ室設置 平成 8 年 9 月 中学校開校 40 周年記念式典 平成 10 年 10 月 全道へき地複式教育研究大会石狩大会会場 平成 17 年 8 月 校舎外壁大規模補修完了 平成 18 年 11 月 中学校開校 50 周年記念式典、祝賀会開催 平成 21 年 9 月 交通安全キャンペーン 25 年達成 平成 23 年 8 月 全国中体連バドミントン大会男子個人出場 平成 26 年 10 月 交通安全キャンペーン 30 年達成 平成 27 年 8 月 全道中体連バドミントン大会男子個人出場 平成 28 年 10 月 小学校開校 110 周年・中学校開校 60 周年記念行事実施 平成 30 年 6 月 コミュニティスクール導入 令和 2 年 4 月 特別支援学級開設		

	富 丘 中 学 校		
	所在：千歳市あずさ 1 丁目 2 番 1 号 電話：0123-24-1188 創設：昭和 50 年 4 月 1 日 面積：敷地 24,084 m ² 、建築 7,041 m ²		
校長名	堀田 裕之	教頭名	渡辺 圭
教職員数	教員 29 名 養護 1 名 事務 1 名	学級数 生徒数	17 学級 531 名 (うち特別支援学級 3 学級 13 名)
教育目標	未来を見つめ、より高さを志向する生徒 一、賢く 創造力豊かな生徒 一、豊かに 豊かな心をもち、感動できる生徒 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒 一、逞しく 身体をきたえ、逞しく成長する生徒 ＜重点目標＞『志を高く掲げ 忍耐強く未来を切り拓く生徒の育成 ～よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力の育成～』		
研究主題	学びに向かう力の育成 ～主体的・対話的な学びの視点からの授業改善～		
特色ある 教育活動	1. 「総合的な学習の時間」の体験学習(1 年：福祉体験 2 年：職場体験 3 年：幼稚園実習) 2. 明るく元気なあいさつ 3. 豊かな感性を培う合唱 4. 花とみどりにあふれた環境づくり 5. ボランティア活動～町内会花壇、スノーバスターズ 6. 朝読書等の読書活動の充実 7. 弁当の日の実施 8. 小中連携、一貫教育		
沿 革	昭和 50 年 4 月 新設開校 昭和 57 年 3 月 全日本リコーダーコンテスト重奏部門金賞受賞 昭和 59 年 10 月 開校 10 周年記念式典挙行 昭和 60 年 3 月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成 7 年 1 月 全国書初め展団体優勝 11 月 開校 20 周年記念式典挙行 平成 8 年 3 月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成 13 年 8 月 男子卓球部団体戦全国大会出場 平成 17 年 12 月 開校 30 周年記念式典挙行 平成 18 年 8 月 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成 19 年 8 月 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 平成 20 年 8 月 剣道部全国大会出場 平成 21 年 3 月 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 平成 22 年 3 月 全日本リコーダーコンテスト合奏・重奏の部金賞受賞 平成 23 年 2 月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成 24 年 3 月 分離式 8 月 女子卓球個人全国大会出場 平成 25 年 4 月 特別支援学級開設 平成 26 年 7 月 陸上男子砲丸投 全道優勝、全国大会ベスト 8 大規模改修工事・校内放送設備改修工事(～2 月) 10 月 吹奏楽部 東日本学校吹奏楽大会(群馬県前橋市) 出場 金賞 平成 27 年 7 月 女子バレーボール部全道大会出場 8 月 陸上男子四種競技 全道優勝・全国大会出場 11 月 開校 40 周年記念式典挙行 平成 29 年 7 月 陸上部、水泳全道大会出場 平成 30 年 7 月 陸上部、バドミントン部、水泳全道大会出場 平成 31 年 1 月 スケート全道大会出場 令和 2 年 2 月 スケート全国大会出場 令和 3 年 7 月 陸上部、水泳、剣道、新体操全道大会出場		

	北 斗 中 学 校		
	所在：千歳市北斗5丁目1番1号 電話：0123-22-4151 創設：昭和59年4月1日 面積：敷地 32,217 m ² 、建築 6,380 m ²		
校長名	小川 満	教頭名	鬼塚 建次
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	11学級 283名 (うち特別支援学級2学級8名)
教育目標	自ら学び 心豊かに たくましく 生き抜く人 ○すすんで学び行動する人 ○認め支え合い共に進む人 ○苦難に立ち向かい生き抜く人 【重点目標】 共に学び、支え合う生徒の育成 ～持続可能な社会の創り手をめざして～		
研究主題	ともに学び合い、「わかる」を「できる」につなげる生徒の育成		
特色ある教育活動	1 地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 ・体験的な活動を取り入れた教育の推進 ・職場体験学習や福祉体験学習の充実 2 生徒の自主性を育成する活動 ・生徒会や部活動を中心としたボランティア活動・活動の活性化を図る各種強調週間の取組 3 地域や保護者との連携を深め、地域に根ざした教育活動 ・北斗ふれあいサークル（地域ぐるみの子育て）活動 ・学校文化の地域発信「飛び出せ北斗中」と地域開放「見に来て北斗中」		
沿 革	昭和59年 4月 新設開校 昭和61年 2月 校舎増築完成 平成 元年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成 2年 3月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成 5年11月 コンピュータ室設置 平成 6年11月 開校10周年記念式典挙行 8月 野球部全道大会3位 平成 8年 6月 「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月 開校20周年記念式典挙行 平成19年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 平成21年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 平成22年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 平成23年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞（東日本大震災のため全国大会中止） 8月 男子バスケットボール部全道大会3位 平成24年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 9月 「北斗中防災ナイト」実施 平成25年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞・道新賞 2月 全国スケート大会出場 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞 8月 全道バレーボール大会男子3位 11月 千歳市文化奨励賞音楽部受賞 開校30周年記念千歳市学校課題研究発表会 平成26年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞 平成27年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞・5年連続出場賞 平成28年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞 平成29年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 平成31年 2月 全国スキー（ノルディック）大会出場 令和 元年12月 イングリッシュトライアル開催 令和 2年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞 令和 3年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞（動画審査） 令和 4年 1月 全国リコーダーコンテスト合奏の部銀賞（動画審査）		

	向 陽 台 中 学 校		
	所在：千歳市若草 5 丁目 5 番地 電話：0123-28-4286 創設：昭和 62 年 4 月 1 日 面積：敷地 28,143 m ² 、建築 5,555 m ²		
校長名	久保田 豊	教頭名	細田 幸男
教職員数	教員 14 名 養護 1 名 事務 1 名 支援員 1 名 スクールカウンセラー 1 名	学級数 生徒数	8 学級 195 名 (うち特別支援学級 2 学級 5 名)
教育目標	「真理を求め 心豊かに たくましく」 1 知性を磨き 創る人≪知≫ 2 広く絆を 結ぶ人≪情≫ 3 理想を求め 励む人≪徳≫ 4 気高く強く 生きる人≪体≫ 5 すすんで道を 拓く人≪情≫ 【重点目標】『すすんで道を拓く人』を育む ～主体は生徒を念頭に、生徒との信頼関係のもと、生徒に寄り添い、共に考える教育を実践する～		
研究主題	「主体的に学びに向かう生徒の育成」 ～他と関わりあいながら、共に考える授業を作り上げる～		
特色ある 教育活動	1 確かな学力を育む向中の教育 ○ 数学科における習熟度別少人数指導を通じた個に応じた指導 ○ タブレットを効果的に活用した資質・能力の育成を目指す授業づくり ○ 手帳等を活用し、自律的・主体的に学ぶ学習指導の充実 2 豊かな心を育む向中の教育 ○ 地域環境整備奉仕活動、校内美化活動 ○ 児童生徒会交流といじめ根絶の取組 ○ 学校花壇の花いっぱい運動と人権の花育成ボランティア ○ 地域交流による多様な人との関わりによる総合的な学習やキャリア教育 3 健康・体力を育む向中の教育 ○ 自己の生活習慣や食生活を見直す、教科横断的な学習や食育学習の充実 ○ 基礎体力向上を図るために、授業でサーキットトレーニングの実施 ○ 瞬発力・持久力の向上を図る体育的行事・部活動との連動 4 地域の施設と人材を活用した教育活動 ○ 地域在住の筆の師範との T T 授業 ○ 地域にあるスキー場を利用して地域在住スキー指導員との T T 授業 ○ 部活動に外部指導者やボランティアを活用した専門的な活動		
沿 革	昭和 62 年 4 月 開校式 7 学級 273 名 平成 2 年 2 月 増築校舎完成 普通教室 4、職員室等 計 11 室 平成 5 年 2 月 「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成 6 年 8 月 ラグビー部北海道ラグビーフットボール中学校大会優勝 10 月 コンピュータ教室設置 平成 9 年 11 月 石教研・千教振「学校課題研究発表」 開校 10 周年記念式典挙行 平成 12 年 3 月 「北海道教育実践表彰」受賞 平成 13 年 6 月 全国読書活動実践校 文部科学大臣賞受賞 平成 18 年 10 月 開校 20 周年合唱発表会（市民文化センター大ホール） 平成 21 年 3 月 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 7 月 校舎大規模改修工事（外壁、屋上、非常階段、教室体育館床等） 平成 22 年 1 月 校舎大規模改修工事（体育館、職員・生徒玄関戸） 平成 25 年 7 月 全国中体連水泳大会出場 平成 26 年 1 月 全国中体連スケート大会出場 4 月 特別支援学級開設 7 月 ボイラー改修工事 11 月 北海道道徳推進事業道徳教育研究発表会 平成 27 年 1 月 全国中体連スケート大会出場 7 月 校舎等大規模改修工事（体育館改修、トイレ、放送、黒板等） 平成 28 年 1 月 全国中体連スケート大会出場 平成 29 年 12 月 開校 30 周年記念式典挙行 平成 30 年 12 月 全国中学生人権作文コンテスト 佳作 令和 元年 7 月 全国中学生空手道選手権大会出場		

	勇 舞 中 学 校		
	所在：千歳市勇舞3丁目4番2号 電話：0123-40-0051 創設：平成24年4月1日 面積：敷地 32,285 m ² 、建築 7,807 m ²		
校長名	上田 充士	教頭名	松橋 辰吾
教職員数	教員 36名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	21学級 750名
教育目標	【開校の理念（校訓）】 きらやかに しなやかに 【学校経営の基本方針】 生きる力をはぐくみ、潤いと活力に満ちた学校の創造 【学校教育目標】 瞳をきらめかせ 希望に満ちた未来を拓く ○思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ (人間力) ○高い志と確かな学力をはぐくむ (知 力) ○たくましい身体と実現する能力をはぐくむ (実践力) 【重点目標】 豊かな心に根ざした確かな学力		
研究主題	主体的・協働的に学習に取り組む生徒の育成 ～生徒の「身に付けるべき資質・能力」の習得を重視した指導過程の工夫改善～		
特色ある 教育活動	1 学ぶ場面の充実 (1) 個に応じた補充学習・自学自習活動等の充実（3分前学習、学習会の実施） (2) ICT機器を積極的に活用した授業の充実 (3) 地域と連携した教育活動の推進（職業講話、道徳講話等、図書室開放） 2 自ら考え行動できる生徒の育成 (1) ノーチャイム、朝読書、3分前学習の実践 (2) いじめ根絶をめざしたピンバッチ配布「Heart To Heart」（生徒会活動） (3) リサイクル活動（リングブル、ボトルキャップ、インクカートリッジの回収） 3 小中連携・一貫教育の充実 (1) 小中連携・一貫教育調査研究実践モデル事業成果の活用		
沿 革	平成24年 4月 開校式 13学級 426名 10月 開校記念式典 ～ 校歌・学校教育目標 制定 平成25年 4月 第2回入学式176名入学 14学級 477名 11月 卓球カデット全国大会男子個人出場 平成26年 4月 第3回入学式177名入学 15学級 511名 7月 全国中体連剣道男子団体出場 平成27年 4月 第4回入学式232名入学 17学級 591名 8月 全国中体連陸上男子棒高跳び出場 11月 石狩管内学校課題研究発表会 平成28年 3月 北海道教育庁石狩教育局教育実践表彰受賞 4月 第5回入学式215名入学 18学級627名 平成29年 4月 第6回入学式230名入学 19学級676名 5月 アンカレッジ市ミアーズ中学校交流団歓迎セレモニー 8月 全国中体連陸上男子棒高跳び出場 卓球カデット全国大会女子個人出場 平成30年 4月 第7回入学式214名入学 19学級 660名 平成31年 3月 講堂耐震工事完了、校内パソコン更新 4月 第8回入学式244名入学、19学級693名 令和元年 8月 陸上部、柔道部、バドミントン部、ソフトテニス部、水泳、新体操全道大会出場 令和2年 4月 第9回入学式229名入学 20学級 690名 令和3年 1月 指導者用PC28台、学習者用PC200台配備 4月 第10回入学式269名入学、21学級 746名 8月 学習者用PC555台配備、電子黒板更新 令和4年 4月 第11回入学式255名入学、21学級 750名		

3 幼稚園

(ア) 新制度を選択し、幼稚園のまま「施設型給付」を受ける幼稚園

学校法人/幼稚園	所在地/電話	(利用定員) (就園児数)	預かり保育	通園バス	満3歳児入園	2歳児受入	土曜日	給食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	千歳市清水町4丁目25番地 TEL 23-2331	90 (70)	○	○	○	○	全休	×
富士学園 第2わかば幼稚園	千歳市勇舞1丁目4番1号 TEL 23-2200	180 (133)	○	○	○	○	全休	○ (週3)
つくし学園 千歳つくし幼稚園	千歳市高台2丁目3番11号 TEL 23-0203	260 (249)	○	○	×	○	全休	○ (週3)
西越学園 くるみ幼稚園	千歳市幸福1丁目847番地 TEL 23-4559	180 (156)	○	○	○	×	全休	○ (週5)

4 認定こども園

(ア) 新制度を選択し、認定こども園になって「施設型給付」を受ける認定こども園

学校法人等/認定こども園	所在地/電話	開園時間	定員	受入年齢
千歳市立 認定こども園ひまわり	千歳市新富2丁目4番60号 TEL 23-2894	7:00~18:00 (延長有)	102	1歳~5歳児
千歳市立 認定こども園つばさ	千歳市花園4丁目3番1号 TEL 24-9200	7:00~18:00 (延長有)	102	生後6か月 ~5歳児
千歳洋翔会 北斗認定こども園	千歳市新富1丁目1番41号 TEL 22-5983	7:00~18:00 (延長有)	130	生後6か月 ~5歳児
千歳洋翔会 アリス認定こども園	千歳市勇舞1丁目1番1号 TEL 24-7000	7:00~18:00 (延長有)	135	生後6か月 ~5歳児
浅利教育学園 認定こども園千歳春日保育園	千歳市春日町2丁目1番9号 TEL 27-5535	7:00~18:00 (延長有)	110	生後6か月 ~5歳児
つくし学園 あずさつくし認定こども園	千歳市あずさ5丁目21番1号 TEL 22-5588	7:00~18:00 (延長有)	110	生後6か月 ~5歳児
三溝学園 認定こども園 北陽幼稚園・第2北陽幼稚園	千歳市北陽8丁目2番8号 TEL 49-3100	7:00~18:00 (延長有)	99	生後6か月 ~5歳児
千歳栄光学園 認定こども園千歳第2幼稚園	千歳市新富1丁目6番21号 TEL 23-3586	7:00~18:00 (延長有)	170	生後6か月 ~5歳児

学校法人等/認定こども園	所在地/電話	開園時間	定員	受入年齢
恵愛会 住吉認定こども園	千歳市豊里3丁目9番5号 TEL 24-9368	7:00~18:00 (延長有)	100	2歳~5歳児
つくし学園 認定こども園つくし保育園	千歳市富丘1丁目5番13号 TEL 40-1106	7:00~18:00 (延長有)	120	生後6か月 ~5歳児
つくし学園 認定こども園向陽台つくし幼稚園	千歳市若草5丁目3番地の1 TEL 28-2123	7:00~18:00 (延長有)	140	生後6か月 ~5歳児
こどもの杜 認定こども園おひさま	千歳市みどり台南2丁目12番6号 TEL 29-3311	7:00~18:00 (延長有)	99	生後6か月 ~5歳児
千歳洋翔会 あんじゅ認定こども園	千歳市春日町5丁目1番10号 TEL 23-8015	7:00~18:00 (延長有)	100	生後6か月 ~5歳児
千歳社会福祉協会 認定こども園向陽台	千歳市若草5丁目2番2号 TEL 28-3300	7:00~18:00 (延長有)	90	生後6か月 ~5歳児
株式会社 育未 あさ陽認定こども園	千歳市流通3丁目1番22号 TEL 29-5530	7:00~18:00 (延長有)	100	生後6か月 ~5歳児

5 高等学校

学 校 名 所 在 地 電 話		北海道千歳高等学校 千歳市北栄1丁目4番1号 0123-23-9145
校 長 名	金山 泰幸	
学 級 数 生 徒 数	(全日制) 普 通 科 国際教養科 国際流通科 計 24 学級 930 名 (定時制) 普通科 4 学級 54 名	
沿 革	昭和23年10月 道立野幌高等学校千歳分校として設立認可 昭和25年 3月 北海道月寒高等学校千歳分校となる 4月 千歳町立北海道千歳高等学校設置許可 昭和29年 4月 道立移管 昭和33年10月 創立10周年記念式典挙行 昭和43年 9月 創立20周年記念式典挙行 昭和53年 9月 創立30周年記念式典挙行 昭和62年 3月 定時制商業科閉科 平成 6年11月 大韓民国空港高校姉妹提携 平成 7年 7月 大韓民国空港高校と相互交流開始（平成10年及び11年一時中断） 平成11年 4月 国際教養科・国際流通科開設 11月 創立50周年・校舎改築落成記念式典挙行 平成12年 9月 アメリカ合衆国ジェームズズリバー高校と相互交流開始 平成14年 3月 第2体育館完成 平成15年 4月 全日制普通科1間口減 平成20年 6月～平成21年2月 創立60周年記念事業（記念看板設置、航空写真撮影、校歌CD作成） 平成22年 9月 太陽光発電設備工事完了 令和 2年 4月 全日制普通科1間口減	

学 所 電	校 在 地	名 地 話	 北海道千歳北陽高等学校 千歳市北陽2丁目10番53号 0123-24-2818
校 長 名	渡邊 周一		
学 生 級 徒 数	(全日制) 総合学科/普通科 12 学級 388 名		
沿 革	昭和48年 4月 開校 昭和51年 7月 文部省教育課程研究開発校指定 昭和57年11月 創立10周年記念式典挙行 平成 4年10月 創立20周年記念式典挙行 平成 7年 2月 道路交通量調査実践により北海道社会貢献賞受賞 平成14年11月 創立30周年記念式典挙行 平成15年 4月 2学期制導入 平成16年 4月 学校目標改訂 平成18年 4月 校訓制定 平成19年 4月 文部科学省キャリア教育調査研究推進校指定 平成20年12月 千歳科学技術大学との連携・協力に関する協定 平成21年 9月 平成23年度よりフィールド制導入決定 平成23年 4月 平成23年度入学性よりフィールド制実施 平成24年 5月 青少年赤十字（JRC）全校加入 平成26年 6月 消費者教育の推進に関する研究指定（文部科学省） 平成31年 4月 就職指導の改善に関する研究指定（北海道教育委員会） 令和 4年 4月 総合学科に学科転換 アンビシャススクール（道教委）の導入		

学 校 名 所 在 地 電 話		北海道千歳高等支援学校 千歳市真々地2丁目3番1号 0123-23-6681
校 長 名	竹内 哲	
学 級 数 生 徒 数	(全日制) 生産技術科 環境・流通サポート科 計 9学級 64名	
沿 革	平成25年 4月 開校 第1回入学式(環境・流通サポート科18名、生活技術科9名 計27名入学) 6月 開校式 11月 第1回学校祭 平成26年 3月 修了式 4月 第2回入学式(環境・流通サポート科16名、生活技術科9名 計25名入学) 11月 第2回学校祭 平成27年 3月 修了式 4月 第3回入学式(環境・流通サポート科16名、生活技術科8名 計24名入学) 11月 第3回学校祭 平成28年 3月 第1回卒業証書授与式(3月5日) (環境・流通サポート科17名、生活技術科9名 計26名卒業) 修了式(3月24日) 4月 第4回入学式(環境・流通サポート科17名、生活技術科8名 計25名入学) 平成29年 3月 第2回卒業証書授与式(3月4日) (環境・流通サポート科14名、生活技術科9名 計23名卒業) 修了式(3月24日) 4月 第5回入学式(生活技術科9名、環境流通サポート科14名 計25名入学) ※平成29年度公立特別支援学校配置計画を受け、生活技術科を生産技術科へ学科を再編) 平成30年 3月 第3回卒業証書授与式(3月3日) (環境・流通サポート科12名、生活技術科8名 計20名卒業) 修了式(3月23日) 4月 第6回入学式(生産技術科8名、環境・流通サポート科16名 計24名入学) 平成31年 3月 第4回卒業証書授与式(3月3日) (環境・流通サポート科16名、生活技術科8名 計24名卒業) 修了式(3月22日) 4月 第7回入学式(生産技術科8名、環境・流通サポート科16名 計20名入学) 令和2年 3月 第5回卒業証書授与式(3月8日) (環境・流通サポート科16名、生活技術科8名 計24名卒業) 修了式(3月24日) 4月 第8回入学式(生産技術科8名、環境・流通サポート科16名 計24名入学) 令和3年 3月 第6回卒業証書授与式 (生産技術科8名、環境・流通サポート科15名 計23名卒業) 4月 第9回入学式(生産技術科8名、環境・流通サポート科16名 計24名入学) 令和4年 3月 第7回卒業証書授与式 令和4年 4月 第10回入学式	

6 大学・専修学校

学校名	所在・電話	学科・定員等
 公立千歳科学技術大学	〒066-8655 千歳市美々758 番地 65 (電話 0123-27-6001)	■理工学部 240 名 応用化学生物学科 電子光工学科 情報システム工学科 ■大学院 理工学研究科 理工学専攻 博士前期課程 20 名 博士後期課程 3 名
 北海道千歳リハビリテーション大学	〒066-0055 千歳市里美2丁目10 番 (電話 0123-28-5331)	■健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 80 名 作業療法学専攻 30 名
 日本航空大学校 北海道 新千歳空港キャンパス	〒066-8622 千歳市泉沢 1007 番地の 95 (電話 0123-28-1155)	■航空工学科 4 年生 40 名(男女) ■航空整備科 3 年生 106 名(男女) 一等航空整備士養成コース 二等航空整備士コース 二等航空運航整備士コース 技術コース ■空港技術科 2 年生 80 名(男女) グランドハンドリング ■国際航空ビジネス科 80 名(男女) エアラインコース 2 年生 エアライン・留学コース 3 年生

〔5〕 就学の助成

1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(ア) 学用品費等援助

区分		年度	令和2年度実績		令和3年度実績		備 考
			人員 (人)	人員 (人)	人員 (人)	金額 (円)	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費		709	10,746,022	706	10,381,440	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費		230	2,789,750	239	2,881,350	
	新入学児童生徒学用品費等		122	6,229,320	103	5,532,180	
	修学旅行費		159	2,032,622	133	2,489,722	要保護を含む
	校外活動費		122	419,786	125	429,125	宿泊を伴うもの
	学校給食費		709	31,722,540	702	33,388,153	
	クラブ活動費		8	1,060	2	460	
	生徒会費		48	7,776	0	0	
	P T A 会 費		529	961,108	468	1,011,060	
	卒業アルバム代		161	1,350,340	131	1,130,920	
	臨時支援給付金		731	7,310,000			
	計		—	63,570,324	—	57,244,410	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費		451	11,898,697	429	11,242,672	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費		145	3,630,790	144	3,592,760	
	新入学児童生徒学用品費		160	9,600,000	126	7,560,000	
	修学旅行費		152	3,196,101	136	5,770,281	要保護を含む
	校外活動費		76	349,118	117	726,570	宿泊を伴うもの
	学校給食費		451	23,389,613	426	23,167,664	
	クラブ活動費		443	2,249,407	420	2,541,260	
	生徒会費		449	572,378	428	538,604	
	P T A 会 費		429	737,821	406	702,867	
	卒業アルバム代		168	1,366,500	149	1,221,550	
	臨時支援給付金		454	4,540,000			
	計		—	61,530,425	—	57,064,228	
合 計			—	125,100,749	—	114,308,638	

(イ) 医療費援助

区分		年度	令和2年度実績		令和3年度実績		備 考
			人員 (人)	金額 (円)	人員 (人)	金額 (円)	
小学校	要 保 護 児 童		20	246,250	6	64,350	
	準 要 保 護 児 童		742	1,872,776	537	1,362,460	
	計		762	2,119,026	543	1,426,810	
中学校	要 保 護 生 徒		13	194,060	5	51,300	
	準 要 保 護 生 徒		331	961,790	290	863,940	
	計		344	1,155,850	295	915,240	
合 計			1,106	3,274,876	838	2,342,050	

2 特別支援教育助成

(ア) 特別支援教育就学奨励費・通学費助成

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っています。

区分		年度	令和2年度実績		令和3年度実績		備 考
			人員 (人)	金額 (円)	人員 (人)	金額 (円)	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費		73	372,762	78	389,843	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費		12	44,685	22	96,691	
	新入学児童生徒学用品費等		9	202,565	10	200,210	
	修学旅行費		13	87,302	8	81,572	
	校外活動費		7	12,915	9	16,605	宿泊を伴うもの
	学校給食費		76	1,748,177	78	1,763,581	
	通学費		92	290,461	95	310,121	
	計		—	2,758,867	—	2,858,623	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費		42	330,654	51	352,912	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費		4	26,028	10	110,488	
	新入学児童生徒学用品費等		11	266,449	14	332,336	
	修学旅行費		10	174,546	17	347,802	
	校外活動費		6	16,808	7	21,735	宿泊を伴うもの
	学校給食費		42	1,179,871	51	1,357,037	
	職場実習・交流学習交通費		0	0	4	1,280	
	通学費		8	52,141	7	45,327	
	計		—	2,046,497	—	2,568,917	
合 計			—	4,805,364	—	5,427,540	

(イ) 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給しています。

区分 \ 年度		令和 2 年年度実績		令和 3 年年度実績		備 考
		人員 (人)	金額 (円)	人員 (人)	金額 (円)	
小学校	特別支援学校	16	905,000	14	840,000	
	特別支援学級等	235	7,347,000	242	7,722,000	
	計	251	8,252,000	256	8,562,000	
中学校	特別支援学校	8	522,000	11	666,000	
	特別支援学級	64	2,976,000	74	3,468,000	
	計	72	3,498,000	85	4,134,000	
合 計		323	11,750,000	341	12,696,000	

3 奨学金制度

経済的理由により、修学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金をもとに、奨学金を支給しています。

(ア) 資格要件

- (1) 千歳市内に住所を有すること
- (2) 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
- (3) 学資に乏しいこと
- (4) 学業優良及び素行善良であること
- (5) 健康体で修学可能であること

(イ) 奨学金額

区 分	対 象	金 額
高校生等	高校生	月額 7,000 円以内
	高等専門学校生 (1 年生から 3 年生)	
	専修学校生 (修業年限が 3 年以上の高等課程)	
大学生等	大学生 (短期大学含む)	月額 10,000 円以内
	高等専門学校生 (4 年生、5 年生及び専攻科)	
	専修学校生 (修業年限が 2 年以上の専門課程)	

(ウ) 奨学基金現在高

156,642,028 円 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

(エ) 支給実績

区分 \ 年度	令和 2 年度			令和 3 年度		
	応募者(人)	受給者(人)	支給金額 (円)	応募者(人)	受給者(人)	支給金額 (円)
高校生	79	75	6,293,000	87	87	7,238,000
大学生	52	40	4,730,000	80	80	9,510,000
合 計	131	115	11,023,000	167	167	16,748,000

4 私立幼稚園助成

(ア) 燃料費・光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費・光熱水費として、園児1人当たり年額5,500円を補助しています。

令和2年度		令和3年度	
対象園児数	補助金交付額	対象園児数	補助金交付額
209人	1,149,500円	170人	935,000円

(イ) 建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設、改築する場合、借入金に対する返済利息の一部を利子補給金として補助しています。補助金額は、借入元金の当該年度当初残額（ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。）の3%（借入金利が3%未満の場合はその率）、10年間を限度としています。

区分	年度	令和2年度		令和3年度	
		対象幼稚園	補助金交付金額	対象幼稚園	補助金交付金額
新築		—	—	—	—
増築		—	—	—	—
改築		—	—	—	—

(ウ) 障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児1人当たり年額5万円を補助しています。（ただし、1園当たり15万円を限度とする。）

令和2年度			令和3年度		
対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額	対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
6園※1	13人	650,000円	5園※2	9人	450,000円

※1 幼稚園5園 認定こども園1園

※2 幼稚園2園 認定こども園3園

(エ) 私立幼稚園連合研修費補助金

私立幼稚園連合会が実施する教員研修に対して、参加教員1人当たり5,500円を限度として補助しています。

令和2年度		令和3年度	
参加教員数	補助金交付額	参加教員数	補助金交付額
—	—	—※3	93,280円

※3 令和3年度はオンライン研修のため参加教員数は不明

(オ) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付しています。

区分	年度	令和2年度		令和3年度	
		対象幼児数	補助金交付額	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児		—※4	—	—	—
2歳児受入		179人	9,493,550円	185人	10,811,886円

※4 令和元年10月より、3～5歳児の就園奨励費補助金は、幼児教育・保育の無償化により廃止。

〔6〕 学校保健

1 児童生徒の体位

(令和3年度)

			身長 cm		体重 kg	
			男	女	男	女
小学生	6歳	千歳市	116.9	116.3	22.2	21.6
		全道	116.9	115.8	22.0	21.4
		全国	116.7	115.8	21.7	21.2
	7歳	千歳市	122.6	121.9	24.5	24.2
		全道	122.7	122.4	25.0	24.3
		全国	122.6	121.8	24.5	23.9
	8歳	千歳市	128.1	127.7	27.6	27.2
		全道	128.8	127.5	28.8	27.2
		全国	128.3	127.6	27.7	27.0
	9歳	千歳市	133.7	134.0	32.4	30.7
		全道	134.5	134.4	32.5	31.3
		全国	133.8	134.1	31.3	30.6
	10歳	千歳市	139.2	141.2	36.5	35.2
		全道	139.5	140.7	36.4	35.6
		全国	139.3	140.9	35.1	35.0
中学生	11歳	千歳市	146.0	147.7	40.9	39.9
		全道	146.6	147.7	40.7	40.9
		全国	145.9	147.3	39.6	39.8
	12歳	千歳市	154.4	152.4	47.0	44.5
		全道	154.6	152.6	46.8	45.1
		全国	153.6	152.1	45.2	44.4
	13歳	千歳市	161.1	154.9	51.5	47.4
		全道	161.1	155.0	51.5	48.1
		全国	160.6	155.0	50.0	47.6
	14歳	千歳市	165.6	156.5	55.9	49.1
		全道	166.0	157.0	55.6	50.8
		全国	165.7	156.5	54.7	50.0

2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

(単位：件数)

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
令和2年度	小学校	57	70	133	108	368
	中学校	74	73	138	135	420
	計	131	143	271	243	788
令和3年度	小学校	144	92	94	108	438
	中学校	168	104	165	135	572
	計	312	196	259	243	1,010

〔7〕 学校給食

1 施設の概要

千歳市学校給食センター

所在地 千歳市流通3丁目1番地の11
 電話 0123-23-3519 FAX 23-3599
 開設 平成5年8月
 建築構造 鉄骨造2階建
 敷地面積 9,024.42 m²
 建物面積 2,972.85 m²



2 学校給食の状況

学校給食は「学校給食法」等に基づき、昭和39年に共同調理方式を採用し、現在、週5回（米飯3回、パン・麺類各1回）の給食を提供しています。

現代の食生活における問題点として、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題などがあることから、学校給食では、家庭にける食事と併せて、成長期にある児童生徒の1日に必要な栄養量を摂取できるよう、文部科学省が定めている「学校給食実施基準」に基づき、献立を作成しています。

また、学校給食における「地産地消」の取組として、9月から11月の使用予定野菜のうち、千歳産で供給可能な場合は千歳産を使用し、米飯は平成13年1月から千歳・恵庭産の白米を使用しており、角食パンは、平成28年度から千歳産の小麦を使用しています。

3 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置し、運営全般にわたる審議を行っています。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、業務実施に係る民間のノウハウを活用し、より安定した給食を提供するため、平成21年4月1日から委託を行っています。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所 属 団 体	氏 名
緑小学校校長	渡曾 朋広
北進小中学校教頭	杉原 大樹
保護者	喜多 康裕
保護者	堀河 佳菜
千歳医師会・学校医	石坂 明人
民生委員児童委員連絡協議会	寺岡 叔美
千歳消費者協会	秦 由基
保健福祉部健康づくり課長	藤田 聖樹

（令和3年4月1日現在）

4 給食校及び配食数

学校数			配食数				米飯回数
総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	教職員	週3回
27	18	9	8,556	5,313	2,669	574	

(令和4年5月1日現在)

5 給食費

	主食 (円)	副食 (円)	牛乳 (円)	合計 1食単価	給食費 (円)		年間 給食 回数
					月額4月～2月	年間	
					3月		
小学校 (低)	83	114	50	247	3,810	45,695	185 回 の場合
					3,785		
小学校 (高)	90	126	50	266	4,110	49,210	
					4,000		
中学校	95	159	50	304	4,690	56,240	
					4,650		

(平成26年4月1日改定)

6 栄養基準

			エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
							A (μgRE)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)
小学校	低学年	学校給食摂取基準	530	※	290	2.5	170	0.30	0.40	20
		千歳市の献立	603	22.8	315	2.3	185	0.28	0.42	16
	高学年	学校給食摂取基準	780	※	360	4.0	240	0.50	0.50	25
		千歳市の献立	681	26.0	338	2.8	220	0.34	0.44	20
中学校	学校給食摂取基準		830	※	450	4.0	300	0.50	0.60	30
	千歳市の献立		759	28.8	355	3.5	234	0.37	0.47	21

※たんぱく質の学校給食摂取基準は学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%

※たんぱく質1g＝エネルギー4kcal

〔8〕生徒指導・青少年指導

1 教育相談

千歳市では、相談電話・来訪又は訪問などにより、小中学校と連携して児童生徒の諸問題に関する相談を行っています。

（ア）青少年課における相談業務対応種別件数

（単位：件）

相談種別	令和2年度	令和3年度	増減
電話で対応した相談	91	65	-26
来訪で対応した相談	294	281	-13
訪問で対応した相談	58	50	-8
その他の方法で対応した相談	0	0	±0
合計	443	396	-47

※相談内容は、不登校（255件）、学校生活（84件）、家庭生活（38件）、いじめ（12件）、問題行動（5件）、その他（2件）となっている。

※保護者からの相談が75.5%を占めている。

※その他の方法で対応した相談については、学校や関係機関との調整をした相談件数としている。

（イ）スクールカウンセラー配置状況

児童生徒の問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、専門的な知識に基づく指導・助言ができる、スクールカウンセラーによる教育相談を実施しています。

- ① 北海道スクールカウンセラー配置校
千歳中、北進小中、青葉中、駒里小中、富丘中、北斗中、向陽台中、勇舞中、日の出小、祝梅小、北陽小、末広小、支笏湖小、東小、東千歳中、千歳第二小、信濃小、桜木小、向陽台小、泉沢小、みどり台小
- ② 千歳市スクールカウンセラー配置校
千歳第二小、信濃小、高台小、桜木小、泉沢小、緑小、千歳小、北栄小、向陽台小、向陽台中、日の出小、祝梅小、末広小、北陽小、東小、東千歳中、みどり台小
- ③ スクールカウンセラーによる教育相談は、教育委員会青少年課相談室において月2回実施

（ウ）心の相談員配置状況

相談体制の充実を図るため、小学校13校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みやストレスを和らげ問題行動の未然防止を図ります。

- ① 心の教室相談員配置校
千歳中、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、北陽小、泉沢小

2 不登校児童生徒

不登校児童生徒については、学校と連携するとともに適応指導教室（「おあしす」）への通級を働きかけています。

（ア） 不登校児童生徒数（文部科学省の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	増減
小学校	47	87	+40
中学校	147	151	+4
計	194	238	+44

※上記数値は、文部科学省の不登校の定義で連続又は、断続して年間30日以上休んだ児童生徒数（病気・けがは除く）を示している。

（イ） 適応指導教室「おあしす」

（1） 設置の目的

不登校児童生徒の増加に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内（東雲町1丁目10番地）に学校適応指導教室『おあしす』を開設しています。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指しています。

（2） 指導の方針

- ア 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で、生活面での支援を行う。
- イ 体験的活動や集団活動を通して、コミュニケーション能力や集団生活における適応能力の向上を図る。
- ウ 家庭や在籍校、各関係機関（子ども家庭課、児童相談所等）との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

（3） 入級対象児童生徒

市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適応によって、不登校の状態にある児童生徒。

（4） 通級児童生徒数（見学通級は含まず）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度
小学校	6	7
中学校	36	29
計	42	36

（5） 開設時間

- ・月～木 9：30～14：30
- ・金 9：30～12：00

（6） 活動内容

- ア 個別活動：児童生徒が立てた計画に従って活動し、必要に応じてスタッフの援助を受ける。
- イ 学習時間：個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。
- ウ マイタイム：「目的をもって活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。
- エ 集団活動：児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

3 いじめに関する取組

千歳市では、いじめの問題に関する指導の方針として「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組み、学校、家庭、関係機関及び地域が一体となって、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めることとしています。

平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」、また、これに伴い国が平成25年10月に策定した「いじめの防止等のための基本的な方針」の内容を踏まえ、平成26年3月に「千歳市いじめ防止基本方針」を策定しました。

さらに、各学校においては、平成26年6月末に「学校いじめ防止基本方針」を策定したところであり、この基本方針に基づき、かけがえのない存在である児童生徒一人ひとりが、元気で明るく学び、健やかに成長していくことができるよう、いじめの防止等の対策に取り組んでいきます。

また、子どもたちや、地域住民、教育関係者等が一体となって取組む行事として、平成9年度から、いじめの防止に向けた共通理解を図ることを目的に、なかよしさわやか DAY いじめシンポジウムを開催しています。

※令和3年度 なかよしさわやか DAY いじめシンポジウム開催状況

日 時： 令和3年11月27日（土）～令和4年1月26日（水）

開催方法： 動画配信・文書交流

参加者： 392名（動画視聴回数）、585名（文書交流参加者数）

（ア） いじめに関する調査結果（文部科学省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果）

（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	増減
いじめ	835	391	-444

※「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」（いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）です。

4 各種事故

一般事故や交通事故及び非行事故については、小中学校からその都度報告を受け、学校での指導内容を確認し、防止に向けた取組を進めています。

（ア） 一般事故・交通事故の状況

（単位：件）

	令和2年度	令和3年度	増減
交通事故	4	8	+4
一般事故	10	5	-5

（イ） 非行事故の状況

（単位：件）

	令和2年度	令和3年度	増減
小学校	3	7	+4
中学校	4	13	+8
計	7	20	+12

5 児童生徒の安全確保

(ア) 不審者・不審電話件数

(単位：件)

	令和2年度	令和3年度	増減
不審者	24	30	+6
不審電話	0	1	+1

(イ) 千歳っ子見守り隊

各小学校に「千歳っ子見守り隊」を設置し、町内会やPTAの見守り隊ボランティアが児童生徒の見守り活動を行っています。

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	増減
見守り隊員数	576	584	+8

(ウ) 子ども110番の家

子ども達が不審者、事件等に遭遇したときに、助けを求める場所として、各小学校が校区内の商店や事業所などに協力を呼び掛け、「子ども110番の家」を設置しています。

(単位：件)

	令和2年度	令和3年度	増減
登録件数	1,125	1,124	-1

6 青少年指導人数

青少年指導センター専門指導員による青少年の指導人数

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	増減
小学生	2	57	-16
中学校	2	4	-38
高校生	22	4	-16
その他学生	0	0	±0
有職者	0	0	±0
無職者	0	0	±0
合計	26	65	+39

※指導の内容は、校外生活指導基準に基づく帰宅時刻を超えた児童生徒に対する帰宅指導が最も多い